大正十二年一月三十日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）
昭和三年六月一日發行
昭和三年五月二十八日印刷納本

無產階級戰闘雜誌

進め

第六年　六月號　第六號

支配階級に教ふ …… 卷頭言
支配階級の社會政策的無能力を嗤ふ …… 羽田光雄

時評
右翼農民團体への闘争
即時支那より撤兵せよ
既成政治の內訌
警官暴行事件
見榮坊の淸凉濟
階級戰の一大損失をとり返せ
田中內閣打倒と無產政黨

特別議會を顧みて …… 森貞次
◉唯物史觀は如何に社會變革を說明するか
二大農民組合大會傍聽記
　全日本農民組合 …… 南三平
　日本農民組合 …… 岩崎正三郎
鐵の如き統制に服する左翼婦人同盟の無方針 …… 吉田源藏
新組合と政黨問題 …… 淸水寬一
英國農民史要 …… 淺野研眞譯
メーデー從軍記 …… 橋詰不二緖
講座　資本主義、社會主義 …… 神庭仲之介
◉進め社だより
朝鮮共產黨判決書全文(三) …… 金熙明譯
創作　田舍主義者 …… 中島安太郎
隨筆　赤旗の歌ひ初め …… 高田和逸

時事日誌
社會運動用語
全士戰報

定價十錢

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

進め社本部取次書目（一部一圓、送料十錢）

- 解放の藝術 — [illegible]
- 幽靈讀者 — [illegible]
- 幸德名文集 — [illegible]
- 秋水書簡集 — [illegible]
- 新消費組合論 — [illegible]
- 地震憲兵火事巡査 — [illegible]
- 社會運動史 — [illegible]
- ユートピア集 — [illegible]
- 社會運動史 — [illegible]
- 變態女工虐待史 — [illegible]
- 勞働運動史 — [illegible]
- 彼等起らば — [illegible]
- 武左衛門一揆 — [illegible]
- 社會思想解説 — [illegible]

山川均著

資本主義のからくり

二十六版 三十錢

農民勞働社取次書目

農村振興策批判（杉山）	、一〇錢	社會主義と民族問題（レーニン）	、三〇
唯物史觀解説（河上肇）	一〇	或同志への書翰（山川）	、一五
プロレタリアの使命（住谷）	、一〇	前衛と勞働組合（ロゾウスキー）	、七〇
人一生の經濟學（河野）	、一〇	レーニン（ロゾウスキー）	、三〇
無産青年運動（高橋）	、一五	マルクス評傳（レニン）	、二〇
勞働者の明日（野田）	、一〇	第三インタ小史（コミンタン）	、八〇
無産青年に與ふ（辻井）	、一〇	史的唯物論（ブハーリン）	一、〇〇
社會主義學説大要（堺）	、三〇	何をなすべきか（レニン）	一、〇〇
左翼小兒病（堺）	、三〇	社會運動辭典（田所）	二、〇〇

右は取次書目の一部でありその他に無産階級運動に關する一切の書籍特にパンフレットを取次する。目錄請求（要二錢）一覽の上注文を乞ふ。送料は一切當社に於て負擔す。

東京市芝區二本榎西町二
振替東京七六二七〇番

農民勞働社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支配階級に敎ふ

「板垣死すとも自由は死せず」の鮮血にまみれた悲痛な叫喚が、如何に當時の靑年を憤激せしめたかを知る者は、古今の大惡法と稱さるゝ治安維持法の下において十年の懲役をもつて罰せらるゝ共產主義秘密結社が數百名の黨員を動員した原因の奈邊にあるかを亦氣づかざるを得ないであらう。然るに、かつて板垣の志をつぎ、藩閥政府の橫暴と戰ひし自由黨の後身政友會內閣が、自ら藩閥政府の轍を踏んで遮二無二勃發すべきをおさへんとして、現行治安維持法に代るに死刑をもつてする改正案を緊急勅令によつて發布せんと企圖するに至りし意圖は餘りに明白である。彼等が社會の必然を知らざるが爲めではない。支配階級の地位にのぼりて以來、何時の時代にも新興運動におそれおのゝく支配階級通有の恐怖觀念に麻痺したる爲である。この恐怖觀念が、支配階級に一つの幻想を與へるらしい。死刑をもつて、新興運動を阻止出來るとの幻想である。しかしながら、この幻想はつひに幻想に終らざるを得ない。吾人は先づ治安法改正は却つて民衆の反抗を激化せしめる汝等の豫期に反した無駄骨を通り越した仕事に終るであらう事を敎へる。

翻つて既成政黨內部において、治安維持法改正緊急勅令案に對し、野黨與黨を問はず反對の聲は捲きおこされてゐる。しかしながら、これらの反對は、治安維持法を通過せしめた經緯を見ても、今次の共產黨檢擧に拍手を送つた事實を見ても、彼等の反對は彈壓を不可とする見地よりのそれではない。彼等の反對理由は、何故、緊急勅令として出すべき理由ありやとの憲法上の見地より、議會否認の聲明をとらへて、鈴木內相の辭職に成功した民政黨の議會主義的立場より、又、之と反對にそれによつて失敗した政友會は鈴木內相を追拂つた後は議會中心主義であるとの證據を見せるといふ樣な立場からの反對であつて、彼等は、緊急勅令の特質を有せざるものを緊急勅令として出すは議會主義の破壞なりとふれ廻る事に一致してゐる。

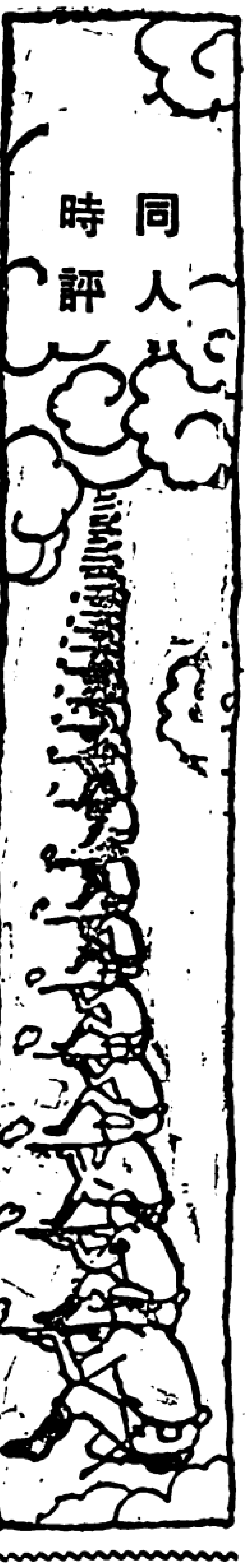
彼等は高踏的な彈壓を避けて、普選議會の名において爲さんとするより陰險な爪をといでゐる。無產大衆は何よりもよくその事情を知り拔いてゐる。衣の下からチラ〳〵光る鎧の色を見落す程、無產大衆は盲目では無い。既成政治への暴露戰鬪は展開されてゐる。

緊急勅令案には反對と否とを問はず、いやしくも治安維持法の成立に努力した支配階級はこの共產黨事件を單なる共產黨事件に終らしめたくはないであらう。無產運動全體を共產黨事件の名によつて、合法運動を非合法運動の名によつて、一氣に斷壓せしめんと考へてゐるであらう。本誌は、汝等の、陰謀が、用心深く、全國の僻村僻地に張り廻はされんとする事に就いて頻々たる同志の報告を受けてゐる。そして、異常なる興奮と、反抗がいやが上にも、無產運動の上に流れてゐる事を知つてゐる。この生活難と彈壓の低氣壓が積り積つて爆發する時、責は無產階級にあらずして、汝等にあるべき事は餘りに明白である。

支配階級の社會政策的無能力と斷壓が「共產黨」のよき溫床であつた事を知るならば、再び失敗より失敗を繰返すに止まるであらうところの治安維持法の改正案は勿論、治安維持法そのものゝ撤廢こそ所謂治安維持に適當した、汝等の賢明の態度であるまいか。

無產運動の進出は支配階級のなすべからざる社會生活の苦悶にふれ、民衆の安寧秩序の爲め努力するものである以上、その運動に對して、政策をもつて爭はずして斷壓をもつて爭ふ事は、汝等のみの「安寧秩序」にはなるかも知れぬが、社會の「安寧秩序」には價せざる事を知るべきである。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



右翼農民團體への闘争

凡ての無產團體を蔽ふて來た合同問題は、幾多の難關障害を、突破して、一部左翼團體合同となつて、具體的に實現して來た、それには反動期に入つた支配階級、殊に鈴木喜三郎の內相投げ出しの一條迄も演じた狂壓ぶりも手傳つて、大衆の要望はいやが上にも高まつて實踐的モクト主義を克服し、五月十二日日農、全日の合同協議會となり、遂に二十七日の合同大會迄に進めて來た。無產團體の利害を代表して最も勇敢に闘爭して來た二團體の合同は何人も祝福する事であり、新らしき方針の基に闘爭舞臺に上らんとする全國農民組合に對しては多大の期待がかけられてゐる事も事實であるが一面左翼農民團體結成と共に、從來より反動的であり、小ブルヂョア的傾向を多分に含んでゐる處の右翼團體が益々反動化するであらう事も考へない譯けには行かない。且つて四月五日全國農民團體の合同協議會において「農民は農民黨」のスローガンを揭げ階級意識の混濁せる無產農民を戰闘的プロレタリアより引き離し、今日の反動ブルヂョアジーの政策を遂行し、其の豫備運動形成のため忠實に其のお先棒を努めて來た中澤辨次郎氏は、セクト主義を排撃し戰線の統一を叫んで容れられず、日本農民黨を去つた高橋龜吉氏の後釜に据り、右翼農民團體の結成を急いでゐる。かくの如く左翼農民組合の合同は、直ちに右翼團體の反動化を助成し從來の全國農民團體合同は、遠く彼方におしやられて終つた形になつた。何れの國においても、左翼團體の尖鋭化と共に社會民主々義的傾向をもつ團體が、反動化して行く事は餘りにありふれた事ではあるがそれと共に左翼の戰闘的マルキストは、これに對する闘爭に常に全力を傾注して來た。今や我國も各國の例に洩れず、左翼團體の結成と共に右翼農民團體の益々反動化して行きつゝある事實に遭遇して來たのである。從來の左翼分裂主義の策動に只單に理論的誤謬より發生した行動であつたが、社會民主々義の分裂策動は彼等の本質であつて、それによつてのみその生命があるのであるが故に、これに對する闘爭は、從來の合同に倍加した努力を要する事は必然である。

左翼農民團體の當面の闘爭目的は、其の新裝せる闘爭形態によつて、勇敢に社會民主々義克服への戰ひを續けて行く事でなくてはならない。

今回の左翼團體の合同は、それが益々二大農民團體の對立を深刻化して行く事でなく、より實踐的な闘爭による右翼セクト主義への克服であり、戰線統一への前哨戰であつて欲しい。

（五月十五日、上杉）

即時支那より撤兵せよ

「人の物は吾が物」といふ思想だと共產主義の解釋を民衆に中傷する支配階級は支那の領土は我が物だと考へてゐる。そうでなければ、支那へ出兵など出來るものではない。在留邦人の保護その名はよろしい、國民の名による出兵しかし、その名前は何であれすだれをのけた中味は財閥の光つた目と、采配ばかりである。民政黨は一見出兵反對する樣に見えるが、彼等とて同じ穴の狸だ。臨時議會において出兵費を可決して了つたではないか、英國や米國が

時事日誌

五月一日第九回メーデーを期して本誌は時事日誌を掲載する事にした。讀者諸氏にとつていさゝかたりとも參考にならば喜ぶ。

■五月一日

メーデー祭擧行（メーデーの記事參照）

内相不信任案否決の望みなく三日間議會再停會。

南軍濟南に入城。鈴木内務大臣辭意を洩す。

■五月二日

内相辭意を飜し政局危機に陷入る。

■五月三日

内相正式に辭表提出、田中首相内相を兼任。日本軍隊南軍の進路を防害し濟南激戰。

■五月四日

選擧干渉彈劾案可決さる。有田元原延野長の佐賀縣赴任に縣民反對。

■五月五日

内閣不信任案明政會の浮腰の爲め通過の見込立たず。

■五月六日

内閣不信任案上程のまゝ散會、議會の幕閉づ、日本軍愈々××を開始す。

■五月七日

名古屋師團、朝鮮平壤飛行隊出兵。日本海員組合大會は乘組員定

中立的態度に立つてゐるのは、日本の出兵を好んでゐるのではないが、各國が自分の今迄やつて來た帝國主義政策の手前何んとも云ひようがないのである。しかし、支那を寶庫にしてゐる各國は、愈々日本の出兵がその痛い所にふれる樣になれば自然沈默も破れよう。鋭く對立してゐる利害關係の均衡が何かの機會で動搖したが最後、風雲は東亞の天地を暗くするであらう。世界戰爭の危機の伏在する支那に、マツチをともして藁小屋を歩く樣な出兵に對して、世界平和と對支非干涉を主張する無產階級は、即時撤退を要求するものである。數千萬圓の國帑を投じた上、兵卒は氣候の激變より來る惡疫の爲めに倒れつゝあるとの事、何人か之を默視する事が出來よう。出兵によつて在留邦人が支那民衆の反感をそゝり立て一部財閥の犧牲となつて尼港事件の二の舞を演ぜんとするを何人が默視する事が出來よう。出兵せずとも支那民衆が暴行したと假定しても、其場合は居留民引上げが經濟の上からも保護の上からも、現地保護より完全である。ひるがへつて見れば世人に世界平和の母胎であるとの幻想を抱かせてゐる國際聯盟が、この世界戰爭の危機と、對支干涉を承認してゐるのは、彼等の平和運動並に支那への軍器輸入禁止とは矛盾も甚しい、ブルヂヨア國家の平和論は信用出來ない。

（以下紳麿）

既成政治の內訌

內相をやめたくは無し、それかと云つて、首相の一蓮託生說をあてにしてをれば、他の閣僚の目が光るし、その一蓮託生說もどうやらあてにならぬし椅子にかぢりついて苦しみ拔いた腕の喜三郎が、とうとう內閣の宿命の犧牲者となつてから、その後釜に誰れを據へるかの改造問題を中心にして、內閣の危機は展開され、それにつれて政友會の內訌も表面に表れて來た。田中は久原といふ政治的に何等の定見の無い人間を遞相に祭りあげ、望月を內務大臣の後釜にして了つた。それが氣に食はないので、水野文相が辭職し、三土藏相もどうやら危ないし、與黨では小泉策太郎の脫黨說さへもちあがつた。三土の如きは、身の清廉を全うするならば斷然辭職せねばならぬし、國家の大局の上から考へればそうも行かぬしと云つてゐる。久原房之助の大××人なる事はすでに定評のあるところで、かの震災手形問題等に就て自分等の不始末を國民に始末させた物の大將であるが、三土や水野も勝るとも劣らざる曲物である事に異論ない。二月の總選擧の三土の醜態を見たなら、身の潔白も糞喰へぢやないか。國民はこんな連中に支配される事には大反對だ。單に三土や久原のみが問題でなく既成政黨そのものが國民の信賴に足るものではない。元來〝既成政黨が總選擧で九百萬の投票を奪つたのは、國民の信賴の上に投票せられたものでは無い。金の切れ目が緣の切れ目に過ぎぬし、金で投票した民衆も毎日の社會相から自覺する一方でそれが又、既成政黨の腐れ緣の切れ目である。政友會も民政黨も自分等の社會政策的無能力におそれおのゝいてゐるが、自分等ではそれは回復する事は覺束ない。民衆の自覺既成政黨の無能力、無產政黨の進出、そうしたものがうづをまく渦の上を、既成政黨の舟は動搖して流れてゐる。その動搖にあはてふためいて狼狽してゐる姿、內閣改造、政友會〃民政黨の內訌等々。自分等の力で舟をくつがへすだらう。無產階級の波が彼等を呑み、水底の深淵として了ふだらう。滿洲の治安は出兵でやり、內地の治安は治安維持法改正緊急勅令でやるが黨內の治安は何んでやるかは彼等には分らない。地震ぐらびに考へてゐるだらう。三方面を通じて支配階級の地位の動搖する三つの表現である。馬鹿な奴ではないか

警官暴行事件

おそかりし餘りにおそかりし

暴行の名人有田前原庭署長は佐賀縣民の大反對で佐賀縣へは行けず、加ふに檢事局の活動によつて、辭職させられて了つた。その他二三の暴行巡査が起訴された。吾人は、かゝる非行犯人の罰せられたるを喜ぶものであるがこれを、單に一有田のやつた仕事として

員制度を會社側に要求す。

■五月八日

日勞黨員上村忠吉君は有田元暴行署長を相手取り傷害瀆職凌辱の告訴を東京地方裁判所に提起す。茨城縣重田炭礦に會社の不誠意より同盟罷業勃發す（日本坑夫組合加盟）

■五月九日

排日の氣運漸く全支に擴大。治安維持法緊急勅令によつて改惡せんとする議閣內に高し。

■五月十一日

日本軍隊濟南を占領。久原內相說高し。支那國民政府日本の行動に對して國際關係を妨害するものとして國際聯盟に訴ふ。

■五月十二日

日農、全日の合同協議會圓滿に進展し、二十七日に合同大會を大阪に開く事に決定す。北軍敗退し北京動搖す。共產黨事件に二十二名起訴さる。

東京十二、京都二、神戶七、岡山三、を增し、全國總數三百九十四名の內譯は（東京一二八、新潟一八、長野一三、大阪七二、京都二三、神戶二五、福岡三四、北海道六四、高松二、岡山一五

■五月十四日

尾崎行雄三國難決議案の具體化の爲め戊辰同盟を組織す高橋龜吉氏全日本農民組合同盟を脫退。川崎汽船會社對海員組合の紛議擴大す。

■五月十五日

望月遞相を內相に。久原を遞相

●目をつむつて了ふ譯には行かない●その背後にあつては、支配階級の魔手が動いてゐる事は爭はれない事實だからだ。こうした暴行は一原庭署のみの出來事ではない。又今に初まつた事ではない。無產階級に對する暴行は、不當檢束者の話をきけ。最もやかましかつた朝鮮共產黨事件の被告に加へられた拷問、警察の無產階級に對する歷史は××の歷史である。然るに今迄之がかくまで世人の耳を驚かさなかつたのは無產運動者への暴行であり、よし抗議したにしてもデマゴーギとして支配階級によつて握り潰されたからである。同時にブルヂョア新聞も無關心であつた。然るに、今次の事件は大新聞記者に對して行はれたもので、宣傳力の強き背景をもつ記者の憤怒は、かくも一大センセイションをあたへずにはゐなかつた。もし無產運動者のみであつたなら、事は表面に出でなかつたであらうが、普通の市民にはしなくも暴行の魔手が及んだので、警察の正體は曝露された。吾々無產階級にとつては事件は起るべくして餘りにおそかりしうらみをもつてゐる。支配階級にとつては全民衆の憤怒を買つた甚しい失敗であるけれども、後の祭りである。

見榮坊への清涼劑

東京府議選擧に日勞黨が三輪壽壯氏を立てた事は可成り人の注意を惹いてゐる。ある人は三輪氏程の人物が府議候補に立つ事は安つぽいと云ふ感じがあると評し、ある人は三輪氏が敢然として府議候補に立つた事は氏の階級的人格を物語るものだと評してゐる。

三輪氏は勞働農民黨成立當時の書記長であり、日勞黨の前書記長であつて、名書記長の名高かりし人、普通の俗學的又小ブルヂョア的見解よりすれば、國會議員以外は出ないと云つても然るべき人物である。然るに三輪氏は前揭の小ブルヂョア的見解よりすれば一段格式の下つた府會議員候補に立つた事は日勞黨内その他の小ブルヂョア的イデオロギイの把持者の深く身に體すべきところである。無產階級運動と見榮坊とは兩立しない。もし之をゴツチャにして考へる者は裏切者であり、小ブルヂョア觀念より一歩も離脫してゐない。支配者專制によつて固められたあらゆる政治機構に向つて進出しなくてはならぬ無產階級が、自分は國會議員級だから府會には出ぬ式の考へをもつならば、無產運動の危機之より恐るべきは無い。東京府政への進出の重大さは、形式上中央と地方との差はあれ、優るとも劣らざるものである。兎に角、三輪氏の府議立候補は、小ブルヂョア的見榮坊の表現である代議士病者の多い無產政黨への最も良き清涼劑であらねばならぬ。

話題を轉じて、日勞黨が今次の立候補問題に、勞農派におそれおのゝき、又勞農派が勞農派の人の日勞黨よりの立候補を妨害したのは、如何なる理由かは知らぬが、階級鬪爭への進出をかけ引きによつて阻害した事になり、つゝみを鳴らして責めるべき價値がある。

階級戰の一大損失をとり返せ

五月十七日勞農黨が、日勞黨へ合同を提議したが、日勞黨は之を拒絕した。此拒絕は合同への熱意をもたざる爲めではない。解散された舊勞農黨と合同する事は、日勞黨へふたゝび反動政府の斷壓が立所に來るからである。反動政府はさなきだに之の機會をうかゞつてゐる。無論、解散、そのものゝ如きは別しておそるべきものではない。しかし、階級戰へ與へる大損失は蔽ふべくもない。日本共產黨事件によつて吾人はかの無產者新聞の誇大な平素のかけ聲を信じて一大示威デモストレションでも捲き起るかと思つた。然るに事實は全く反對である。日本共產黨は大衆と餘りかけ離れてゐたかの觀があつた。かゝる狀勢を見るとき、無產政黨の任務は大なるものである。こうした大局の立場より無產政黨は、決して政府に解散の口實を與へてはならない。日勞黨の拒絕それは責めるべきものではない。しかし、舊勞農黨の議員をあのまゝで長く放棄しておく事は、無產運動の一大損失である事を吾等は深く銘記せねばならない。吾等のこの一大損失をとり返す最大の手段は田中内閣を一日も早く倒す事である。その上においてのみ日勞黨と舊勞農黨の合同は實現するであらう。

にと閉鎖決定。海員組合爭議川崎汽船の讓歩にて解決す。

■五月十六日

有田元暴行署長引責辭職

■五月十七日

治安法とは獨立に「國體變革處罰に關する件」緊急勅令としての發布か閣議決定の上樞府の諮詢手續きさろ事に決定す。奉天軍續々後退。日勞、社民兩黨府會選擧對策會議。市電值上げに内部から反對の聲起る。舊勞農黨日勞黨に合同を申込む。

■五月十八日

内閣改造危機、芳澤公使張作霖に關外引揚げを勸告す。全日、日農の兩農民組合合同の名稱は全國農民組合と決定さる。全日本農民組合同盟は高橋組合長脫退により中澤辨次郎氏組合長就任。原庭署暴行巡査三名起訴。

■五月十九日

給料值上問題より東海堂書店爭議、舊勞農黨の合同提議を日勞黨拒絕、野田爭議馘首人員の後始末全部終る。治安維持法改正緊急勅令に與黨反對。

■五月二十日

東海堂爭議の爲め副支配人責任自殺、内閣改造を中心として政友會危機。

■五月二十二日

内閣改造を承認せず水野文相辭表提出、小泉三伸脫黨說傳はる。

■五月二十三日

望月内務、久原遞信の親任式、優詔降下を名として水野文相居据る

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

田中內閣打倒と無產政黨

無產黨は臨時議會において、あらゆる力を田中內閣の打倒に集中したが、事成らずして議會は閉會され今日に及んだ。しかし、田中內閣打倒の必要がなくなつたのではない。必要がないどころか、必要の增大に迫られてゐる。治安維持法改正を緊急勅令で出そうとしてゐる事などその最惡な點である。吾々は田中內閣打倒の實現の爲めに戰はねばならない。しかし、田中內閣を倒す事は、無產黨のみの運動では到底望み得ない。されば、臨時議會においても獨自の不信任案を引つこめて、民政黨案に合流したのである。この態度は、議會におけると否とを問はず、田中內閣を倒す爲めには否でも應でも取らねばならぬ態度である。無論、突發事件があつた場合、亦は暴動でもあつた場合なら無產黨よく田中政府を倒す事が出來るかも知れんが、現在の樣な狀態の下においてはそんな考へは夢想である。さて、田中內閣打倒が無產政黨當面の任務であり、その任務は野黨をあやつる以外に遂行出來ない以上は、政界の一動一波にも無產政黨の注意がそゝがれねばならぬ筈である。

こうした見地から見るとき、現下の內閣改造問題より起つた既成政治の內訌に對して、無產政黨は何等かの働きかけが必要である。無論、この既成政黨のゴタ〳〵が、無產階級にとつては馬鹿々々しい問題であつて、眞面目に論議すべき價値の全然ないものではあるけれども、吾々は既成政治のゴタ〳〵が下らぬ事から起つたものだと云つて笑つてはすまされぬ。既成政治全體が吾々にとつては馬鹿々々しいものであつて、この事件のみがつまらぬものでは無い。この吾々から見れば、甚だ下らぬ事でも、既成政治は盛んに動搖し、田中內閣の辭職の時來たとか、來ぬとか、政權を中心としてにらみ合つてゐる。もし、この下らぬ事件から內閣が代つたなら、この下らぬ問題が社會に一大動搖を來たさせる。されば吾々はこの下らぬ事件を笑つてゐる事は出來ぬ。下らぬ事件をも引とらへて既成政治の內訌を助長せしめ、先づ田中內閣打倒の目的を遂行すべきである。勿論、無產政黨は內閣打倒に就いては、民政黨や明政會の云ふ樣な目的とかけ聲でやるのでは無い。無產黨は下らぬ事件をもつて田中內閣打倒を叫ぶのではない、自らの立場よりであつて、たゞ田中內閣打倒といふ目的の爲めに、下らぬ事をとらへて打倒のかけ聲としてゐる野黨と合流すべきである。然るに、無產黨はこの問題を笑つてゐる樣である。傍觀的である。積極的に政權をほしがつてゐる民政黨に油をそゝぎかけて、甚だ意氣あがらぬ火を炎だらしめねばならぬ。民政黨に追隨する樣だけれども、追隨ぢや無くてあやつりである。民政黨なんかに追隨してたまるものか。吾々の敵だ。

吾々は、無產黨の諸君に政治運動は總選擧や議會中だけでなく、又田中內閣打倒は總選擧や議會中だけの問題でない事をはつきり意識して貰ひたい。田中內閣打倒のいとぐちは既成政治の下らぬ責任騷ぎなどにころがつてゐる。

田中反動政府を倒せ。

(二十一頁より續く)

の民衆の手よりもぎとりし利權それを政商共に無償で(內々に山吹色の物を取つて)與へたものを、支那の正しき民衆の手に取返される事を極度に恐れたから、自分等との腐れ緣である政商共の請ひを入れて、一部の大資本家擁護の爲に多くの軍費を出して一個軍團の兵士を送り、今支那のドサクサに乘じて北軍の爲それは滿洲の利權と交換の約束の下に南軍の進出を防止をなし事をかまへて三井大倉等の爲に火事場どろ棒する考へである彼等國家的立場を云々すれど現在の國家觀念そのものが間違ひだ彼等の仲間の內でも海軍の元老の內で今回の出兵を東洋平和の破壞だとまで痛罵した者もあり陸軍と海軍が意見の相違して大論戰をやつたと傳へられてゐる陸軍は火事泥をしろと云ふのに海軍に要地要地に適當に在留邦人を集中し出兵費で保護をしてそれでも行けぬなら海軍の艦船を利用して一時內地に歸還せしめると主張したのだ彼等の仲間でも今度の出兵は無意義であると云これてるのだから何んでこれが全國家的だ我等民衆はこうした無意義の出兵で兄弟を殺されたくないそして赤支那の統一を妨害したくない我々は饑と失業に苦しんでゐるそれを見捨てゝ己れの私慾のみにする出兵に反對しなければならない支那の正しき更生の道を破壞する今回の出兵に絕對に反對しなければならないそして山東へだまされて×にやられだ見弟の眼を覺さればならぬ全國各地に反對のナモをやれその波に乘つて反動政府に迫れ同志よしつかりやらうぜ

(名古屋前田榮次)

■五月二十四日
優諚降下問題紛糾して文相辭職勝田主計文部大臣となる。

■五月二十五日
政友會大會途に首相の人事行政に對して彈劾の火の手を擧ぐ。日本政府不戰條約に贊成す。

■五月二十六日
全國右翼農民組合合同協議會名古屋にて開かれ合同大會を七月五日に決定す。

■五月二十七日
全國農民組合(全日。日農)大會大阪中之島公會堂にて開かる。新中央委員長杉山元治郎氏、統制委員長山上武雄氏。

■五月二十八日
全國農民組合最初の中央委員會杉山元治郎氏(國際產業政治)前川正一氏(調查青年組織)淺沼稻次郎氏(敎育、出版、爭議)各部長決定。

■五月二十九日
日本大學豫科生千二百名盟休。野田爭議直訴事件の堀越君に懲役八ケ月の求刑。

■五月三十日
東海堂爭議解決す。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支配階級の社會政策的無能力を嗤ふ

羽田光雄

日本共産黨事件は、田中内閣の石を除き土を穿つての執拗な検擧によつて、いやが上にも擴大し、すでにして全國に渉つて四百名の多きに達する起訴處分が斷行された、たしかに一大センセイションを與へる事件である。私の下に來た郷里からの手紙によれば山の中の村々にも、村民達の話題に上つてゐるとの事であつた。この手紙からおして左の事を想像する事は決して難き事では無い。即ち長きにわたつて一絲亂れざる組織をもつ支配階級の反動網が、この共産黨事件を動機として、それは共産黨のみに限らずあらゆる無産運動を同一物として、新らしくそして誇大的活動を開始するであらう事を。支配階級の反動網が、一せいに民衆の恐怖感と反感を挑發する爲めに小學校教育、中等教育、青年團、軍人會等に働きかけてゐるかと云ふ事を。

かくて、支配階級は一方こうした方法に全努力を集中すると同時に、片方において、社會政策的口吻をもらして、目覺しつゝある民衆の前に同意をもとめんとしてゐる。その一つの例として、かの小山検事總長が、かくの如き「不祥事」が起つたのに對して、吾々が考慮しなければならぬ事は、何等か現代の社會制度に缺陷があるのを認める事であると云つてゐる。無論原因無きところには何事も起らない。「共産黨事件」は天から下つたものではない。社會組織の動きが、遂に必然的にかうした問題を惹起した。資本主義組織の下において、資本の集中化と、大衆の貧困が日一日と加重して行く時において、大衆が何らかの社會組織を求める事は、餘りに知れ切つた常識的結論である。しかも、地球の廣大な一角においてその任務を了した大國が嚴然と控へ、その大國が常に×××の理想の實現を期してゐる時においては、かゝる企てが組織化され促進されるのも蓋し必然な事であらう。

支配階級はこの原因であるべき社會組織に就いては、かの小山検事總長の言の如き微々たる聲しか出し得ない。元來、支配階級は一般民衆に對しては、この原因に就いてはふれまいとしてゐる。むしろ、原因の無い危險思想である事を宣傳しようと考へてゐる。なぜならば、彼等には、貧困とか生活上の不安とかはどうする事の出來ない運命であるといふ様に教へる事が必要である。そうでないならば、民衆の懶惰、不節制におしつけようとしてゐる。社會組織が、貧乏や不安の原因である事を、示す事は、彼等にとつて、全民衆の不滿、反抗即ち自分に弓を引く出發點を與へる事になるからである。されば、支配階級は天から降つた惡魔式に之を取扱はんとして痛いところにふれまいとしてゐる。然し、すべての民衆に對して同じい戰法では駄目である事を彼等は感じてゐる。そして申譯的に社會政策的口吻を申し立てる。しかし、支配階級の社會政策的口吻に對する民衆の信頼は餘りに微弱である。なぜならば、資本主義社會の矛盾の増大に比して社會政策的設備の影は甚だ薄きものであるからだ。

社會政策の實施はどのブルチョア黨でも必ず並べ立てる御題目の一つであり、内閣の成立に際しては、社會政策をもつて民衆の生活を安定ならしめる事を公約する事に例外は無い。そして、その公約は幾分かは果たされる。しかし、民衆の生活を安定ならしめる公約は決して實施された事はない。もし、社會政策の實施によつて、生活安定の理想が實現されるならば、すでにあの公約の洪水、山岳と積む聲明をもつてしたならば、とうの昔しから貧乏などは影をひそめて了つたであらう。然るに、事實は雄辯にこの期待を裏切つてゐる。社會政策の努力によつても、資本主義社會の矛盾を壓する事は出來なかつた。むしろ、その矛盾の増大は反つて、それを解決する筈であつた社會政策的實行をすら不可能ならしめて了ふ。

この不可解に見える現象は資本主義社會の法則を把握してゐるものにとつては、その說明は餘りに簡單である。元來、社會政策なるものは現代社會の搾取階級によつて行はれるものである。搾取階級は被搾取階級の上に君臨する事無しには成立しない。その二大階級の分野は次第に極端的になつてくる。搾取階級は大きな資本家が支配する様になり、小さな中間的なそれは次第に減少する。反之、被搾取階級は増大する。この増大して行く貧困に、搾取階級のおこほれ式の申し譯式の社會政策の手の屆く筈は無い。社會組織そのものがブルチョアジイの公約を破棄し如何ともすべからざる力が生活の不安を重態ならしめて行くのである。こゝに、無産階級の苦惱があり、同時に、ブルチョアジイの恐怖が發生する。そして階級闘爭の深刻化が展開される。

以上の事柄を穿明する時、ブルチョアジイが共産黨發生の原因を大衆に示す事を怠り、ひたすら、それを隠蔽し、根據無き恐怖感をそゝる事にの

み吸々としてゐる事の原因が發見出來るであらう。社會不安を一掃する能力を失つた彼等には、最早や自由主義的な態度をもつて之に對する事は出來ない。たゞ重き刑罰をもつて防止しようとする。私達は支配階級の積極的進出を最近に至つて、いやといふ程見せつけられてゐる。計畫的勞働組合のブッコヘシ政策（岡谷、野田、足尾）を見よ。無論現時においても、階級鬪爭の事實を隱蔽しようとして腐心してゐる事はすでに述べた。しかし、事實において、無產運動の勃發に對しては、積極的攻勢をとりつゝある。階級鬪爭の否認などの時代錯誤の宣傳も、無知な大衆を獲得すべき支配階級の攻勢的一戰術である。無產大衆のデモストレションが支配階級への火蓋であるならば、治安維持法の改正は、支配階級の無產大衆への挑戰の烽火である。しかし、支配階級は如何に屋上更に家を建てる式の彈壓法規をこしらへようとも、無產運動の進展は阻止出來ない事は、彼等と雖も知り過ぎる程知つてゐる事であらう。若し、法規によつて壓迫され減少され得るものであるならば、かの治安維持法によつて、この種の事件は起り得なかつたであらう。然るに事實は反對であつた。この事實をよく知りながら、即ち自らによつては、資本主義の沒落を防ぎ民衆の貧困を阻止する事は出來ず、さりとて彈壓によつては撲滅どころか反つて膨脹して行く事實を知りながら、何かゝる彈壓を行ふ事は、彼等は死物狂ひになつてゐるからである。おほれる者は藁をつかむの例もある。彼等はその藁にひとしいものを握つて暴れ廻らうとしてゐるのだ。

元來「共產黨」は××××の母胎となるものであり、原則的に地下室なものであり、非合法性を好むものである。白晝公然と許さるゝ如き「×××」は骨拔きである。されば、現時の田中內閣の如き盲目的彈壓を加ふるものは反つて、自らが×のよりよき肥料となり土壤とさへなり得るであらう。しかし、最早や自由主義的內閣の組織は夢想であるからして、田中內閣の危機は資本主義組織の危機であると言つても差支へなからう。

共產黨事件を中心として支配階級の社會政策的無能力は苦惱と焦慮に悶えてゐる水中に藁をつかむ式の狂態にありありと表現されてゐるでは無いか。

進めパンフレット
農民諸君に與ふ
一部十錢

唯物史觀は如何に社會變革を説明するか

以下掲載するのは唯物史觀の公式と呼ばれてゐる部分である、唯物史觀によつてのみ、吾々は社會生活の推移が研究出來、社會現象を正確に認識する事が出來る。敢へて唯物史觀公式を掲げる所以である

◇

人類は、彼等の生活の社會的生產に於いて一定の必然的の彼等の意志より獨立した關係に、即ち彼等の物質的生產力の一定の發展階段に適應する所の生產關係に入り込むものである。此等の生產關係の總和は社會の經濟的構造を成すものであつて、それは法制上及政治上の上層建築が據つて以て立つ所の、又一定の社會的意識形態が之に適應する所の眞實の土臺である。物質的生活の生產方法は一般に社會的の政治的及び精神的の生活過程を條件づける。人類の意識が其の存在を決定するのでなくて寧ろ之に反し、彼等の社會的存在が其の意識を決定する。

社會の一定の物質的生產力は其の發展の一定の階段に於て、其のものが從來その內に活動してゐた所の當時の生產關係又は單にその法的表現である所有關係と衝突することになる此等の關係は生產力の發展形式から變じて之が桎梏となる。是に於いて社會的革命の時代が到來する。經濟的基礎の變動に伴ふて巨大なる上層建築の全部が徐々と或ひは急激に變革し了る。

斯かる變革の觀察に當つては、吾々は常に自然科學的に忠實に論證する事が出來る。經濟的生產條件の上に起つた物質的の變革と、人類が依つて以つて此の衝突を意識し、且つこれが決戰を爲すに至る所の法制、政治、宗教、藝術哲學上の簡單に云へば觀念上の諸形態とを區別しなければならぬ。斯かる變革時代をば其の時代の意識から判斷するのは、恰も或る個人が自分自身をどう考へてゐるかによつて、その人を決定せんとするに同じく、曾に得る所がないのみならず、寧ろ此の意識なるものが、物質的生活の矛盾から社會的生產力と生產關係との間に現存せる衝突から、說明されなければならぬのである。

一の社會組織は總ての生產力が其の組織內に餘地ある限り發展を爲し遂げた後にあらざれば決して顚覆し去るもので無く、又新なより高度の生產關係はそのものゝ物質的存在條件が古き社會の胎內に孕まれ了る以前において、決して發現し來たるものでは無いだから人間は常に解決し得る問題のみを問題とするものである。何故と云ふに一層正確に之を觀察するならば、問題自體は其の解決に必要な物質的條件の已に存在してゐるか又は少なくとも、其の成生の過程に在る場合にのみ、初めて發生するものだからである

吾人は極く大づかみに亞細亞的の、古代的の（ギリシヤローマ）封建的の、及び近代の有產者的の生產方法を以つて、經濟的社會構成の進步の階段と爲す事が出來る。

而して、有產的の生產關係は、社會的生產方法の敵對的形態を採れるものゝ最後である。茲に敵對的と謂ふのは個人的敵對と云ふ意味にあらずして、個人の社會的生活條件から派生する敵對を意味する併し有產者的社會の胎內に於いて發展した生產力は、同時に此の敵對の解決に必要な物質的條件を作る。されば、人類社會の前史は、此の社會構成を以つて終局を告げる。

勞働隨筆

「赤旗」の歌ひ始め

高田和逸

何時か機會が有つたら『勞働歌』の作者、作意、時代、歌ひ始めのエピソートと云つたものを集めて『勞働歌小史』と云つたものを綴つて見やうかと、柄にも無い大望を抱いたことがあつた。

『勞働歌』に絡るエピソートと云つたものにも却々面白いのがある。例へば大正八年の友愛會第七週年大會(開催地東京)の時、關西側の代議員諸君が賀川豊彦氏の作つた『目醒よ日本の勞働者』といふ勞働歌を、賀川氏自からの音頭取りで旺んに歌つて氣勢を掲げたので、關東側の代議員諸君は、この豫期せざる新作勞働歌の氣勢にすつかり呑まれて仕舞つた。夫れが爲め關東側は隨分癪に障つたものと見へ、其の翌年の第八週年大會(開催地大阪)の時は、この復讐といふ譯でもなかつたろうが關東側は『貪婪飽くなき資本家の』といふ東京聯合會々歌なるものを作つて意氣天を衝くの勢を以つて大阪へ乘り込んだものである。

ところが關東方面に於ける其の當時の客觀的情勢(この頃は斯う云ふ言葉は使はなかつたが)は僅々一ケ年間とは雖も急激なる進歩とでも謂はふか、兎に角、サンヂカリズムの傾向を多分に持つたラヂカルな若い闘士が澤山に殖へて居つたので、從つて新作の勞働歌なるものも、所謂過激な内容を有つて居たのは勿論である。

で、集合地であつた中の島公園まで、關東側の代議員諸君は、前年關西側が東京へ乘り込んで來た時に劣らぬ氣勢を示し作ら、この歌を歌ひつつ繰り込んだのであるが、この遠來の客、關東側の代議員を迎へんとして公園に集つて居た大阪の諸君はどうであつたかと云ふに、矢張り前年の勞働歌『目醒よ日本の勞働者』を歌つて居つた。

其處で、期せずして關東側と關西側とが勞働歌を中心として劃然たる二分野の對立と云ふ珍景を呈するに至つたが此の爲め一つの問題が勃發しやうとは誰れも氣の着かなかつたことである。

―問題とは賀川豊彦氏が、この關東側の歌の中の一節『血汐流れて河となり、恨みは永し幾世紀』と『一擧に屠り打ち建てよ、勞働自治の新社會』といふ句を見てカンカンに怒つたことである。そして曰く『如何に東京の連中が左傾、過激な一派とは謂ひながら、こんな亂暴なことを云ふものがあるか、一擧に屠り打ち建てよ、なぞとはロシアの過激派よりも過激なことだ!』また恨みは永しなぞと云ふが、私は資本家に恨みはない。恨みて勞働運動はやるのではない』と云つて結局『こんな人々と一緒に勞働運動は出來ない』と、プリプリになつて神戸の自宅へサッサと引揚げて仕舞つたことである。

賀川氏としては、ロシアの過激派(實際過激派といふ言葉を使つて)より過激だと云つて憤慨するのも無理はないが、其の當時の賀川氏は友愛會內部に於ける有力者であつた爲め、斯う云つて引揚げられて仕舞ふと問題であつたのだ。と云ふのは、賀川氏が大會に出席されないとなると折角の大會もお流れになつて仕舞ふからであつた。

乘り込み早々、斯うした問題を起した東京側はこの一軍を引具した東京聯合會主事棚橋小虎氏を始めとして一同鳴りを沈め、賀川氏へは會長鈴木文治氏、松岡駒吉氏、麻生久氏、と云つた處で鎮撫に努め、兎に角大會へは出席することになつたが、こんな險惡な空氣で開會した大會であるから種々の問題を發したことは勿論である。

是れ等は勞働歌を中心とするエピソートとしての一例に過ぎないが、以下書かうとする『赤旗』のことは主として吾國へ紹介された經路といつたこと、即ち歌ひ初めと云ふことだけを書いて見やうと思ふ。

岡本綺堂氏の戯曲に『べらんめいの始り』と云ふ極めてべらんめいのものがある。これは一外國人が日本へ漂着した昔の話しで、其の發音がべらんめい〳〵と聞へたといふにある喜劇である。

史實は別として、交通不便な鎖國時代に於てすら、一外人の漂着によつてべらんめいといふ言葉が移入され今日迄何百年間といふ間吾々の口にされて居るものである。況んや世界はラヂオに依つて包まれたと云ふ文明開化の現代に於て世界の一角に鳴り響く波動が日本へも觸れぬ理由がない。『赤旗』は始めアメリカのI、W、W、の勞働者に歌はれた勞働歌であるが、何時の時代にか歐洲に渡り、ロシアに渡つて赤衛軍の軍歌となり遂に日本へも渡つて來たものである。

風が持て來る二階の端唄。となると頗る意氣向で、赤い褄を想はせるが、これは赤は赤でも染色でない生地の赤で、矢張り風が持て來たアメリカの勞働歌には。違ひないが二階位から持つて來たものでないだけに艶しいものではない。

然らば、何時頃から吾國へ移入されたものであるかといふに、私の知つてる範圍では大正九年頃新人會の機關誌『先驅』誌上へ譯載されたのが一番早やかつたやうに記憶して居るが、この譯文は現今大衆に歌はれて居るものとは全然異るもので、單に直譯的に譯載されたものであるから

歌の節といふものが不明であるのみならず詩文のやうな形式で照介されたものであつたから何人にも歌はれずに終つた。

それから二年の後、大正十一年に至つて友愛會の調査部特派員として永らく歐洲各地の勞働事情を調査研究の上歸朝した野坂參弐氏（ペンネーム野坂鐵、現在産業調査所々長）夫妻が持つて歸られた、『赤旗』の音譜を手に入れたので早速歌つて見やうと云ふことになつたのである。

その年の夏頃のことであつた。私等が日本勞働總同盟の内部で左傾的な者のみで組織して居つた左黨聯盟の若手を集めて其頃大森に住んで居た野坂氏の家へ行つて夫人龍子女史の音頭で始めて『赤旗』を歌つたのである。

處が、龍子夫人から音譜を見せられながら歌ふのであるが、音譜なるものを見れば例のお玉杓子の行列であるから音樂智識のない私等に分らう

寫眞説明

この寫眞は『赤旗』歌ひ始め記念の爲めヴヰオリスト福永の撮影したもので、後列右から、筆者、山本懸藏、村上茱、仲濱藤次、前列増田廣治である。寫眞が不鮮明で不明であろが、筆者の胸のポケツトに白く見ゆるのが『赤旗』の原音譜である。

道理がない。そこで尋常一年生のやうにドレミハではどうかと云つてドレミハでやつて見たが結局それも落第であつた。

が、丁度幸ひなことには總同盟本部の裏の國井ビルディングの三階の一室を私等が借りて居て『アナーキストの室』と云つたやうな感じのする現實社會から少し離れたやうな生活をして居た一風變つた連中がゴロ〳〵して居つた中に通稱信ちやんで通つた芝浦勞働組合員の福永信一と云ふ可成りのヴァイオリストが居つたので、夫れに音譜を渡して朝から夜中までキーキーキーやらして見た。

そして私等（山本懸藏、仲濱藤次、增田廣治、土井直作、筆者等）はこのキーキー聲の後について、ラララララ、、、、、ラララ、、、、と云つた具合にラララ一點張りで兎も角『赤旗』の正調の節だけを仕上げて仕舞つたのであるが、偖て、正調の節が完成して見ると今度は歌の文句に合せて見たくなるのが當然である。又實際に文句が無くては何んの役にも立たないのであるが大體節が分らなかつたから節に合ふやうな飜譯が出來なかつたので止むなくラララでやつたのであるから、斯うなると一刻も早く歌の文句が必要になつて來たので、この飜譯を赤松克麿氏に依頼したものである。

然し赤松氏と雖も節に合せての和譯は却々六ケ敷いことであると見え、相當の日數を經て最初三節だけの和譯が出來た。即ち『民衆の旗、赤旗は』の一節と『フランス人は愛す、旗の光』と『力なく道暗けれど』の三節が出來上つたので早速これを本式に歌ひ始めた譯である。其の第二節にある。

□フランス人は愛す旗の光
ドイツ人はこの歌うたふ
モスカウ伽藍に歌ひゞき
シカゴに歌聲高し

と謂ふが如く、日本の銀座街頭にも歌ひゞく、ことになつたのである。

其の後ち赤松氏の手に依つて第四節、第五節の和譯も完成し、日本の勞働者の何人の口にも歌はれることになつた。

顧れば、大正十一年の夏、斯くして世界的勞働歌『赤旗』は總同盟員の四五人の一團に依つて、當時ボルに行くべきか、アナに進むべきか、更らにテロに走るべきか、卑怯者として逃避すべきか、と云ふ内面的の悶を慰すべく強烈な酒を慕つて芝園橋々畔のカフエー『永樂』へ行つたものであるが、其處の二階で強烈な酒の香りの中で思想的混沌の十字街頭に起つて迷へる若人等が日本の地上への第一聲を揚げたのが始まりであるから誠につまらないことのやうであるが、それから過ぐること六年の今日に於て『吾等は死するまで赤旗を、捧げて進むを誓ふ』と大衆の動きと共に幾萬人かに歌はれ、何時も社會運動の先頭に『神聖の旗』と聲も高らかに歌はれることを想ひては愉快を感ぜずには居られない。

殊に、私を驚させたことは、今年の二月山陰地方を旅行した時、山間の一寒村に於てすら歌はれて居つたことである。

歌へ！　歌へ！　聲の續く限り、世界の大衆と共に！　赤旗の蔭に斃死せんと－　て世界は××に包まれん。

轟

◇

猶ほ、附記して置き度いことは斯くの如く歐米の勞働者が歌つて居る勞働歌が節もそのまゝに日本へ移入されたのはこの歌が始めてであらうこ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

とである。このことは誠に意義深きことであると思ふ。

當時日本で作られた勞働歌の節はみな有り合せの唱歌の節を取り入れたものであつた。例へば有名な『〇〇の歌』は「あゝ玉杯に花うけて」であり『〇〇歌、我等は許さず人類の』は「ワシントン」の節であり『聞かずや君よ、民衆の』は「敵は幾萬ありとても」で『目醒よ、日本の勞働者』は「煙も見へず」と云ふ軍歌の節である。又『貪婪飽くなき資本家の』は「アムール河」の節と云つたやうに唱歌や軍歌の節其の儘であつた爲め勞働歌の節としては、どれもピツタリと來るものがなかつた。（文意は別として）

また『赤旗』と同時に『インタナショナル』も節をつけてラララでやつて見たが、これは物にならなかつた。

（昭和三年五月十六日夜、遠音に流れ來る『赤旗』の歌を聞きつつ）

特別議會を顧て

森貞次

（一）

臨時議會には、鑵切り議員とか鑵詰議員とか云ふ新らしい言葉が流行した。この言葉は正に過般の總選擧が如何に無力なものであり、醜悪なものであつたかと云ふ事を示してゐる。なぜならば、ほんとうに正しい選擧と政治自覺の下に選出された代議士なら、鑵詰め議員の樣な無能なロクで無し代議士てはなかつたであらうから。されば、この新らしい流行言葉は、大いに議會を嘲笑するのみならず、日本の普通選擧及び民衆を嘲笑ふものではあるまいか。

（二）

この言葉の意味はこうである。勿論、誰れも知つてゐるもので、とりたてゝ云ふべきものではないけれども、吾々は執拗に彼等の正體を曝露する必要をもつてゐる。

鑵詰議員は民政黨の代議士所謂陣笠の事を云つたもので議會中、別々な行動をとらしめず、同じい宿屋におしこめ停會中なんかは丁度小學生の修學旅行の樣に引卒されて箱根とか熱海へ行き少なくとも分別のあるべき代議士ともあらうものが筍や松茸の樣に鑵詰めにされてゐたのである。之は、政府の切崩しを警戒しての事であつた。鑵切り議員といふのは政友會の代議士で民政黨の陣笠をひつこ抜いてくる事を仕事としたのであつた。

（三）

この現象は、臨時議會が、政府が過半數を得てゐないし野黨とまけず劣らずであつたからで、政府はこの鑵詰めを破つて、自分達の壽命をのばそうと努力したのである。そこで、民政黨はこれを防ぎ、不信任案を通過させて内閣をかつぱらう事に努力した。

（四）

さて、鑵切り議員はどんな器械で、鑵詰めを破らうとしたかといふと、議會解散といふかけ聲と、金と利權であつた。このおそろしい解散には、鑵詰議員は全く閉口してゐた。切角出られたのに、今こゝで解散されたら、金は無いし、出るか出られぬか分らないし、ビクビクしてゐた。この弱い代議士の心理を見拔いてゐた與黨代議士は、自分達も御同樣にビクビクしてゐながら、空威張りをしたものだ。鑵切り連は、このおどかしが成功すれば、議會は無事であるから、盛んに虚勢を張つたけれども、民政黨はこの虚勢を絶へず受太刀的におそれる弱味があつた。この爭奪戰からして、三四名の寢返り議員があつたが、中立組の無所屬、明政會は民政黨の鑵詰め議員以上に解散をおそれてゐたので不信任案は審議未了のまゝで議會が閉會となつた。しかし野黨の爲めに田中内閣は内閣改造を斷行しなければならぬ破目となつて了つた。

田中内閣は最初は一蓮託生主義を以つて進むと云つてゐたのに、ガラリと態度を變へて内閣改造をやつて了つたのは、彼等には内閣を投出す勇無が氣く、否、むしろ、今内閣を投出せばすぐ露見する醜惡な泥棒的事實があるとの事である。されば、武士道の精神である櫻の花の散りぎわを見せず、黨内のゴタゴタ閣僚の意見の不一致を曝露させたのであつた。

利權爭ひの泥合戰、鑵詰屋と鑵切り屋の爭奪戰の一幕に最早や日本の民衆も目覺めてもいゝ時である。こんな芝居がある間明るい政治はないであらう。

（四）

ある既成政黨の代議士は、「無産黨の一番おそろしいところは選擧費が多く要らぬところだ」と云つたが、既成政黨は一回の總選擧にどれだけ巨大な選擧費を必要とするかは諸君の知つてゐられることろである。無産黨が解散を歡迎し、既成政黨が解散を回避したのは、單に宣傳の機會を多からしめるといふだけではなく、こうした批評も的中してゐるであらう。解散をおそれぬ無産黨も、田中内閣打倒の目的を、解散をおそれるブルヂョア代議士の弱腰によつて遂行しられなかつたのは甚だ殘念であつた。

（六）

五十五議會は金權と利權の爭奪戰で終始したが、一方頻々たる暴力の横行が附隨した。在野黨の代議士宅に壯漢がおしかけたり、或ひは登院の途を待ちぶせてなぐりつけたりした。この暴力行爲が、公々然と行はれたの觀さへあつた。ムツソリーニの眞似かも知れぬが、たちのよくない眞似である。

（七）

議會否認的行動を田中内閣は公然と行つた。例へば、議會開期中を停會を二度迄やり最後には審議未了のまゝで幕を閉ぢる事である。議案甚だ少なるものであるならば、許すべしとするも、事、内閣不信案である。野黨によつて代表される民意と、政府によつて代表される民意との討議を阻害する事は、議會政治の骨抜きである。會期を延長して堂々と戰ふべきであつた尚、治安維持法の改正が、緊急勅令として發布される事なども、その一つの例である。治安維持法の改正は何ら緊急勅令として出すべき必要がないに關らず敢へて發布せんとするのは議會否認の一片である。と同時に、無産階級への××的壓迫を意味する。かの大學の壓迫、共産黨事件、大衆政黨の解散、山東出兵などはそのいちぢるしい例である。

（八）

無産黨議員の活躍は目覺ましきものであつた。しかし、社會民衆黨の如き往々にして既成政黨者流のかけ引きをやり小策を弄したのは見苦しき事であつた。どの無産代議士でも社會民主主義の方へ沒落する危機があるのは何人と雖も見る事が出來る。しかし、議會において、反動的政府に口實を與へて彈壓の機會を多からしめる事の危險なるは多言を要せない。大衆の中により潜入する事が必要である。無産黨代議士に純然たる「共産黨」的行動をとれといふのは無理である。それこそ、合法的政黨が非合法物として解散さるゝ口實となる。かゝる行動は決して階級的ではない小兒病的である。敢へて細迫兼光君に進言する。細迫氏は鈴木文治氏を呼び捨てにしてゐるが、一黨の書記長の襟度を示されたがよい。

進め特種を放送致します

河上代議士とカステラ

日勞黨の河上代議士議會中、燕樂軒で休憩して、カステラが二つ殘つた。河上代議士は豫算委員だけあつてこまかいもので、女給をとらへてカステラ二つ差引いて何んぼになると やつてのける。

鞄持の神戸の安勢盛君冷汗をかいて『おらが代議士ごもあかん、世間を知らんから、あかん』と二言目にはアカン。河上代議士はアーメンである

ヒゲモニー

總選擧以來、進め社へくる連中『今日はヒゲモニーはゐないかね』ヒゲモニーとはヒゲで有名な福田狂二氏社會用語辭典の編纂者は爭つて編入してゐる。

福本主義者裏表

某氏前勞農黨の自稱鬪士に相談して曰く、

『僕は最近よく組合の連中や未組織勞働者から階級鬪爭は何故起るかと質問を受けてゐるが、君はその時どういふ風に答へるね』

自稱鬪士ハタと行き詰り。

『君そんな事は指導者のみ知つてをればよい事だ、吾々はたゞその時々の民衆の不平不滿を引つかまへて投げつければよいのだ』これでも尖鋭な鬪士、福本主義者であるから呆れる。裏には裏があるものだなあと某氏は感心した。

小加藤

進め社の鬪士大阪詰めの吉田氏は、『小加藤』の尊稱をもつてゐる小清正ぢやない。日勞黨の加藤勘十氏そつくりであるところからこの名前が割出された。ところが當の御本人は半信半疑で『ウン似てゐるかな、さてな』と首をひねつてゐる程であつたが、最近、吉田氏電車の中で天滿署の高等係と稱する男が恭々しく名刺を出して、『加藤さん選擧では惜しい事をなしましたね』と話しかけられまさか俺は小加藤だと云ふ譯には行かず目を白黑さして了つたが歸つてから『愈々俺は小加藤らしい』と分つた、分つたとはよかつた。

だが俺たちに云はせれば、加藤氏を親分の樣にして吉田氏を子分の樣にする事が氣に喰はねえや日勞黨の恐たれ小僧少しは人樣の手前も氣にするものだよ。

ベラボウな壓迫と戰へ

「進め」十萬の讀者諸君、私は今山陰の一寒村から聲をからして叫ばねばならぬ。支配階級は共産黨事件をきつかけにしてすべて無産政黨、即ち合法的に存在たる大衆政黨を非合法性的なものに見させる樣な逆宣傳をやりつゝあるのを、私の樣な一寒村の青年でもよく感ずる事が出來る。この反動の波を蹴破る事こそ吾等當面の使命である。私の村の青年團長や、村長や、學校長や寺の坊主等が何でも知つてゐる樣な顔をして、危險思想が村の青年達を毒して行かうとしてゐるから注意しなければならぬなどと云ひ廻つてゐる。それを、御尤もらしい顔をしてゐる連中などには世の中の貧乏が何であるかと云ふ事を少しも知つてゐない哀れむべき人間だ。女房や小倅が貧乏やつれをしてゐる事は、地主や金持の下積みになつてゐるからなんだ。私達は暴力××なんか鼓吹するものぢやない。たゞ團結して吾等の正當な權利を奪還すればよいのだ民衆よ、ブルヂョアの宣傳にのつて、無産運動の何たるかを見落してはならぬブルヂョアにとつては、議會主義で行かうと合法主義で邁進しようと、自分達の足下をぐらつかせる運動であつたならすべて非合法運動だと云ふのだそんなベラボウな話があるものか。そんなベラボウな考へだからこそ、共産黨事件が起るのだ。ブルヂョアも少しは譯の分る奴がゐるかと思つてゐたが、ピタ一匹もゐないとは呆れて物が云へない。

「進め」十萬の讀者諸君、私の聲は山陰の一寒村からの聲ではないだらう。全國の世界の民衆の血をしぼつた叫びである。この反動の波を乘り切つて進まう。死をおそれざるものに榮冠は輝く。持場を守つて一日一人の同志を得る事に務めようではないか。そして旗を高く揭げようではないか。

木下鐵太郎

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二大農民組合

大會傍聽記

幾度か合同協議會が開かれては破れ、破れては開かれた農民組合の合同問題は、去る本月十二日の日農、全日の合同協議會において圓滿なる進行を見た。合同大會が五月二十七日大阪において開かれる順序になつた。事態こゝに至つたのは無產農民大衆の戰線統一の要望の如何に力強きかを示す。四月下旬次々に開かれた日農全日の大會傍聽記を掲載する事も決して無用な事ではないだらう（編輯部）

全日本農民組合

南　三平

　戰線統一の手始めとして、先づ農民團體の合同が叫ばれ、かなり具體的に進行して此の調子ならばと思はれて來た矢先、例の農民組合同盟その他の右翼團體がまた〳〵愛想の盡きるやうな裏切りをやつた爲、瞬時にして挫折したが、殘つた日本農民組合と全日本農民組合が飽くまで誠意を以て合同運動を進めて來てゐる此うした時に相前後して開かれた兩組合の全國大會は、當然に異常な注目を吸聚するに充分だつた。こゝに簡明ながら全日本農民組合の大會の大體の模樣を傳へ、併せて若干の印象を記すことにする。

　大會は日農の大會に遲るゝこと三日目の四月二十五日、大阪土佐堀青年會館に開かれた。

　開期が一日だけで果して議案が全部充分に審議され盡されるか何うか疑問だつたが、とも角午前十時に始まつて午前中は各友誼團體の祝辭が述べられ、日勞黨の麻生、總聯合の阪本、勞働組合同盟の松岡、その他全國婦人同盟、全國藝術家同盟等があつたがその中、日本農民組合を代表して山上武雄氏が誠意を面に現して兩組合の合同の一日も速く實現せらるゝやうとの希望を述べたのは當日の來會者に多大の感動を與へたやうに思はれた。既に日農の內部に於ては着々極左分子が排除されつゝあるから、過去の誤謬を卒直に認めるに到るも遠くない事だ。いや合同への積極的活動が既にして宗派清算の運動であることを日農の大衆は充分よく知つてゐる。我々は山上氏の衷心からの誠意を充分汲みとることが出來た。

　祝辭に續いて各地からの祝電が發表され、次に各種委員の任命があつて休憩、午後一時再開し、先づ中央委員會の報告を三宅正一君がやつた後、各地の狀勢報告に入り、格別の重要な質問もなかつた此の間に感じた事は、大會に對する形式的準備が甚だ缺けてゐたことで、分裂更生以來一ケ年間、闘爭をつゞけ來り、こゝに榮ある第二回の全國大會を迎へるにしては、單に形式ばかりでなく、大會に對する全般的準備が足らなかつたが、それ等の不備を補ふものは、各地より馳せ參じた代議員諸君の間の同志的信賴であつて、此の點は、異分子のない腹からの同志の集まりと云ふやうな感を深からしめた。

　報告が終つて直ぐ議事の審議に進んだのだが、もとより本年度の大會は、日農の大會もさうであるやうに、戰線統一を中心議題として開かれたものであり、此問題こそが遺憾なき討議を要するものであつたから、毎年繰り返されるやうな議案は建議案委員會で振り落されたものと見え、左の數件である。

一　規約改正の件

二　政黨の組合の關係に關する件

三　農民運動壓迫諸法令改正の件

四　小作官に對する抗議（緊急動議）

五　最高小作料制定に關する件

六　徹底小作法獲得運動の件

七　農民戰線統一に關する件

八　新方針決定、宣言發表

右の中三は日勞黨の徹底普選運動に合流して行ふもので、具體的な方法は中央委員會一任になり、四は小作調停法改係官吏の不公平なる態度に對する抗議である。實行方法は中央委員會一任。五は小作料決定の標準に就て、京都、島根、大阪等の代議員間に、極々討論が交はされたが、結局調査する必要ありとの意見に傾き、採決の結果多數決で、次年度大會まで提出保留となる。六の徹底小作法獲得運動の件は本部の宗君說明、滿場一致で原案可決。

　是れで、當日の重要議案は二と七である。兩案とも、本部淺沼君說明。

　政黨と組合の關係に關する件は、先頃の勞働組合同盟の大會にも同樣の意味の案が上程論議されたやうだが、今各組合內部に於いてしきりに實際的解決を迫られてゐるものである。特殊的な發展形態を辿つて來た我國の無產者運動は、その過程に於て經濟闘爭の主役たる勞働組合に過重の政治的役割をおはせて來たため、黨と組合支部との關係が事實に於て黨と黨支部の關係に近くなる。此場合に於ては組合の全力が黨の運動にまきこまれて終ふやうな現象が往々にして見られたのみならず宗派の流行は、誤解されたる政治優位の思想と蔓延せしめ組合を黨の從屬物の如く取扱ふ傾向さへ現れるに至つた。これは殊に極左派黨內に於て進だしかつたが、とも角、一般に組合と黨の政治闘爭とが混同されて來た事は明かな事實であつた。また此の關係の解決は農民戰線統一のためにも必要を迫られてゐるものである。それで、當日の大會で決

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

定された條項をあげれば大體次の通りである。

A　組織上に於て截然と區別し連絡部を確立すること。

B　農民組合の任務は主として農民大衆の經濟鬪爭であり、政黨は被壓迫民衆の政治的日常鬪爭の機關である。從つて組合の形態による政治鬪爭は組合自體の經濟鬪爭の發展の結果のそれであり、組合の立場よりする一定の限度がある。此に限度を持つ組合の政治鬪爭は黨の政治鬪爭と結合することによつて全無產階級的政治鬪爭たりうる。

C　かゝる事實より兩者の組織任務の混合を避け、

一、組合支部の活動は速かに黨支部の活動に移すこと。

二、政治的活動のために組合獨自の活動任務を放棄せざること

三、黨と組合の事務所を分離すること。

四、組合の政治鬪爭は黨の指令によつて行動せず組合政治部を通じて行動すること。

五、會計、役員の混同を避くること。

D　組合政治部の確立

七、の農民戰線統一に關する件が附議せられた時は既に時間が數十分しかなかつたが、淺沼君の說明は詳細を極めたもので、具體的な方法に就て熱心な質問が發せられたが、討議に入り、原案の態度に滿場一致贊成し、實行方法に就ては新任中央委員會を信頼して一切一任に決定した。此の點に就ては今少し審議の續行が望ましかつたが、時間の餘裕がなかつたのは誠に殘念だつた。

次で、宣言の發表ありて可決、新方針（吉田氏說明）に就ては大體に於て發表されたる草案を承認することになり更めて中央委員會が正文として作るやうに決定した、最後に役員選衡委員會の發表、會計委員の報告。

新任中央委員氏名

吉田賢一　三宅正一　淺沼稻次郎　安藤國松　宗道太　川俣清音　細野三千雄　堀川嘉夫　石橋源四郎　茂見磯吉　小田林平　吉岡八十一　寺島宗一郎　井谷正吉　山中草光　行政長藏　河合義一　伊達幸太郎　佐藤勝三　小島小一郎　澤田芳男　須永好　野口龍三　山崎[illegible]定　近藤長三郎　松田眞二郎　西村菊次郎

組合長　杉山元次郎

大會を通じて感じた事は先づ何よりも組合員間の步調が完全に揃つてゐることで、くだらない言葉尻をつかまへて「理論鬪爭」をやつたり、議事の進行を妨げるやうな態度がなく、朴訥そのものゝやうな地方の代議員から眞劍な土の香たつぷりの質問が發せられ、しかも議事が全代議員の了解の裡に愉快に進行出來たのは、如何によく組合の結束が強固に出來てあるかを思はせるものであつた。

此の大會を通じて考へれば日農との合同問題も、最早時期の問題であり、早晩兩組合の大衆が再び握手するであらうと思はれた。我等は一日も早く、日農大衆が極左を淸算して合同の實現に努られるやうに待ちのぞんでやまぬ。

日本農民組合

岩崎正三郎

一

日本農民組合第七回全國大會は大阪市土佐堀青年會館で四月廿、廿一、兩日に亘つて開催された。議長は小岩井淨氏。出席代議員は百名前後であつた。反動[illegible]の嵐のために戰鬪分子が殆んど拂ひ去られて仕舞つたので報告も議事も至極く簡單で第一日の如き、全く火の消えたやうだつた。たゞ規約改正に就て從來の會計監査役を止めて別に監査委員を設け會計は勿論、中央委員會の活動を監査督勵すること等を定めたことは、今後左翼組合として一層强力な統制を必要とする際とて、まことに時宜を得たものだと言ひ得る。

二

第二日目も開會漸く十一時に近く、相變らずダレ切つてゐた。消費組合に關する件に次で宣言發表の件が上提された。山口の安田代議員は宣言は重要なものであるから宣言發表の前に過去一ケ年間の運動に就て十分な自己批判をなすべきであると迫つたが、何を如何に、批判せんとするのか、質問者自身要領を得ざるため問題にされず、僅かに山上、小岩井、山根、淸原氏等による小委員會に一應審議せしめることになつた。小委員會に於て如何なるイキサツがあつたか知らないがこの小委員會の決定は宣言の草案から次の如き文案を削除し、大會もそれを滿場一致で承認した。

「顧みれば、一昨年の第五回大會は、方向轉換の過程に於て、遂に吾が組合の分裂の止むなきに至り、再度の分裂を避け難き形勢の中に、昨年の第六回大會は我國の行詰まれる農民運動をして政治的大衆運動への方向に發展せしめ、時代的な新運動方針を樹立した。實に此の一ケ年有餘の吾が組合の闘爭は何者にも屈せざる血みどろの戰ひそのものであつた。」

この草案で見るならば『再度の分裂の避け難き形勢の中 [illegible]

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

農大衆の合同要求を代表して「終始一貫合同のために戰つて來てゐる」日本農民組合が今更に、又分裂肯定論を誇らしく宣言の中に書き立てるワケには行かない。そこで小委員會はこの文章を削除したのに相違ないのだ。更にこの小委員會の努力は草案の中にある日常鬪爭の語を日常經濟鬪爭と改むるなど農民組合が經濟的鬪爭を中心とするものであるといつた感じを強く取扱はうとしてゐることだ。

三

次に新黨樹立に關する件に入つて漸く大會は活氣を呈して來た。愛媛や奈良の代議員が勞農黨解散に對する憤激の叫びを擧げたに始まり、上村進氏の祝辭演說で激勵され、代議員諸君も午後からは大會らしい元氣を見せて來た。

問題の全國農民團體合同に關する件は小岩井淨氏が說明の任に當つたが至極簡單で大衆の熱烈な要求であるといふこと以外に別に變つた說明もなかつた。これに對してもまた、山口縣の守田代議員から自己批判とか、分裂主義云々に就て長々とした話しが出たが若い二三の代議員から「合同にはウルサイ文句はいらない」百姓にはムツカシイ議論は解らぬから一ツ合同に邁進せよ」といつた反對論が出で、守田代議員の說は遂に問題にされず、別に來る二十五日同所で開催さるべき全日本組合の大會に、當大會から合同促進に關するメッセージを贈ることになつた。

四

引き續いて、立入禁止反對運動農民團體共同委員會設置の件、勞農政黨合同促進に關する決議案、次期大會に關する件などが上提されて大會は終つたが、表面に表れた大會の空氣は甚だ低調で灰色そのものであつた。活氣のないのは戰鬪分子が見えないためだらうが、かゝる低調さは決して單にこのことばかりに、原因を持つたものではないやうだ。

他に何等かの原因ありとすれば、それは「共同鬪爭」を通じて」とか、「上からの合同を大衆と大衆の合同要求に從屬せしめる」とか、いつた言葉の内に於て、生硬な「マルクス主義を」あくまで貫かうとする一群に對して、農民組合をしてどこまでも經濟團體としての本質を維持させつゝ大衆的政黨運動へ進出しやうとする正義派が、戰鬪力に富んだ素朴にして純情な農民大衆を前にして、恥かしそうに消極的な暗鬪をヒソ〳〵と敢行？してゐるためであると斷づるも、あながち當らずとも遠からざるものゝ如くである。而して、この暗鬪が明鬪にまで發展するか、内部的に妥協を通じて結着を見るかそれは正に今後の問題であると思ふ。（一九二八、四、二三）

新組合と政黨問題

清水寛一

（一）

全日と日農の合同成り、十萬の農民を打つて一丸とする全國農民組合の創立大會を見た事は何よりも喜ぶべき事である。この合同の實現こそは長らく誤られてゐた組合と政黨等の見解の清算された事を示すものである。農民組合の合同を、無産政黨の合同にまで發展せしめなければならぬ。直接傍聽したと云ふ譯ではないし、詳報を受取つた譯でもないが、新聞紙の報道によつて中心的に論議された政黨加入の問題をいさゝか論評して見たい。

（二）

新組合と政黨關係に就いては可成り論議が交された樣である。或る者は勞農黨を支持すべしと云ひ、或る者は日勞黨を支持すべしと主張して相當の波瀾を生じたが、休憩して兩者懇談した結果兩者ともその主張を撤回して原案が可決された新組合は政黨との關係に就いて左の態度を取る事に決定した。

「無産政黨の合同實現迄は組合全體としてはいづれの無産政黨とも支持關係を結ばず但し個人としてはいづれの政黨にも加入の自由を認む」

この新組合の態度は全く合理である。

（イ） 日勞、實勞農黨のいづれかを支持せんとする事は新組合を再び分裂せしめるものである新組合其ものは、組合即政黨の誤りを清算して組合獨自の使命の上に立てられたもので、政黨の分裂狀態によつて左右される事はつゝしむべき事である。組合を政黨の道具ぐらひに考へたから福本主義は誤りであつた

（二） 新組合がいづれかの政黨と支持關係を結ぶなら無産政黨の合同に就いて何等の役割をもつとめざる事になる。

（三） 右翼農民團體の結成を目前に控へてゐる時、政治的見解の如何を問はず、農民組合は合同出來得るとの確信を右翼農民大衆に傳へる事が出來る。「農民は農民黨へ」の反動的な政黨即組合のアナクロニズムなかけ聲に對して、組合本來の立場より闘爭する事が出來る。

（三）

以上によつて新組合の政黨問題は是認出來る。しかし、新組合は政黨的中立といふものゝ、決して日和見的中立ではない。無産政黨合同の爲めの缺くべからざる態度である吾人は新組合の光輝ある首途に際して、偏狹なる氣持を一掃されん事を農民大衆に希望する次第である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

鐵の如き統制に服する左翼婦人同盟の無方針

――（合流　追隨　萬歲）――

吉田源藏

大正十一、十二年型の婦人運動と鋭く對立し、舊勞農黨確立の過程に於いて、鐵火の試練を經たる、戰鬪的工場勞働婦人と、同じき俸給生活婦人が中心の勢力と成つて、婦人と男子との社會的、意識的差異を止揚して、雄々しくも、全被壓迫婦人解放陣營の本隊として勇猛果敢に、而かも、遂回の横暴なる彈壓に對しても、毫も屈することなく共の部署を守つて鬪爭を續けて來られた、我が戰鬪的婦人解放團體の、關東婦人同盟は、今回端なくも、『政治理論の誤謬』から、我が國階級鬪爭史上に、『重大なる誤謬』を犯したことを發見せられて、愈々同盟を解體せられるとのことである。

關東婦人同盟は、流石に左翼を以つて自他共に許されるところの、階級的婦人團體であるだけに、屢々勇敢に、自己の誤謬や、過失を承認せられる態度には、吾々は滿腔の敬意を拂ふものである。然かも、その過誤や、過失を承認するに當つても、それの原因を暴露するにあらず、其の事情を解剖するにもあらず、それの矯正方法を研究するにあらず、たゞに或る種の方面から天降つて來る指令に依つて所謂「昨是今非」を繰り返し「主の命じ玉ふ所」に從つて前進後退廻れ右を、鐵の如き統制の下に行動せられる一絲亂れざる此の無方針振りには特に吾々は敬意を拂ふものである。

例へば、同盟の昨年十二月の全國大會準備の會に於いて從來掲げ來つた彼の數十ケ條から成る尨大なる政黨的綱領の撤回、亦今回行はれんとする同盟の解體は、何れも同盟の實踐による行動に依つて或は同盟大衆自身の民主的な組織と討議に依つたものではなく、前者は、舊勞農黨の昨秋十一月の急旋回に合流し、後者は、本年三月の勞勞農黨の擴大委員會に追隨したものである。

斯くして、他婦人同盟の「徹底的克服」が「婦人解放の爲めに戰ふあらゆる團體との協力」となり、「光輝ある前衛全日本の勞働者、農民大衆の利益とを擁護して鬪はれた姉妹等が、「我が國階級鬪爭史上に重大なる誤謬を犯した」ことになつたのである。

我が關東婦人同盟の指導理論家、山糸子氏は、同盟が此處に及んだ――我が國階級鬪爭史上重大な誤謬を犯すに至つた――ことの原因を、政治的指導意見の誤謬に求められ、結果に於いては、彼の婦選獲得共同委員會に參加したこと、工場に何等基礎を持たないこと等より、小ブルジョアー運動への墮落、無產階級の勢力の分散、等々の「重大な誤謬」を擧げられている。

だが、我が關東婦人同盟は――其の他の婦人同盟も――同盟を結んで、我が國無產階級の勢力をどれだけ分散させたか――勿論對立鬪爭の場面に於いての分散はこゝでは問題にしない、性的に結合したと云ふことに依る分散を意味する――そして亦、婦選獲得共同委員會に參加して、代表的小ブルジョアー婦人連にイニシエチイブを取られたとて事實我が無產婦人運動が小ブルジョアー化したであらうか、我が婦人同盟が工場勞働婦人に何等の基礎を持たないで階級的でないものであらうか。

吾々は、我が關東婦人同盟が雄々しくも婦人解放運動の步武を歩み始めた當初の全條件はどうであつたか、婦選獲得共同委員會に於ける、小ブルジョアー婦人連のイニシエチイブが、我が無產階級婦人運動を完全に小ブル婦人運動に追ひ込んだであらうか。

我が關東婦人同盟は、「資本の統一的集中的彈壓、階級鬪爭の激化に依り、工場、鑛山、交通、農村の近代的無產者に共の歷史的使命を意識せしめ、この部門に於いて婦人と男子との社會的、意識的差異を止揚……」――一九二七、九月號マルクス主義、岡由之氏――して生れたるものであり、而かも「……婦人同盟の中心勢力が、勞農黨確立の過程に於いて、鐵火の試練を經た、成熟し來つた、工場に基礎を置く勞働婦人と、俸給生活婦人であつて、而かも、婦人解放の爲めの客觀的條件と並びにその主觀的條件とが、現在に至つて始めてよく全體的に統一され得るに至つた……」――一九二七、九月マルクス主義、岡由之氏――ことになつて居つた筈である。

隨つて、我が婦人同盟は工場、農村等に確然と基盤を置くものであり、勞農大衆の戰鬪的同盟として鬪ふものであるから、無產階級の勢力を分散させるものではないのだ。

婦選獲得共同委員會が、小ブルジョアー婦人のイニシエチイブに依つて生れたとは言へ、我が無產婦人運動がこれを以つて、直ちに小ブル運動に墮落したとは言へない。寧ろ吾々は、この婦選獲得共同委員會が、彼等の創意の下に成立したことは、それの成立條件――彼等が積極的に、我が無產婦人團體に働きかけて來た直接の條件――を見るとき、我が無產婦人團體――此の場合無產婦人運動と云ふ方が正しいかも知れない――が事實上指導權を握つたと見ることが出來る。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

それは何に依つて斯く見るか？

吾々は此處で最近の我が國の小ブルジョアー婦人運動の中心指導勢力が何處にあるかを見ることに依つてゞある。

吾々は我が國の小ブルジョアー婦人運動の最近の流れを見てみよう。

我が代表的小ブルジョアー婦人運動のリーダー、平塚らいてう氏は『婦人運動』三月號に於いて云はれる。

『……何につけても階級意識の高調される今日の時代においては、婦人界も又ブルジョアとプロレタリアの二ツに區別されてゐます。併し婦人の立場に於いて、一歩深い意識に這入つたとき、婦人の中には眞のブルジョア階級といふものがあるでせうか。所謂ブルジョア婦人とは甘やかされたる奴隷として、ブルジョア階級にたゞ隷屬してゐる婦人ではないでせうか。いはゆるブルジョア婦人も自覺すればプロレタリアー婦人と共に、彼女等が婦人である限り、現社會においては等しく被支配階級者であり、無產階級者であり、一個のプロレタリアーであることにおいて、兩者の間に何の相違もない筈であります。──「無產政黨をためらふことなく、應援せよ」と。

同じく、奥むめお氏は同誌上に於いて言はれる。

『……何故、私は、婦人の支持す可き政黨は無產政黨より外にないと主張するのか、それは婦人を既成政黨の桎梏より救はねばならぬからだ、婦人の解放と云ふこと、無產階級の解放と云ふことは一ツであつて二ツではない、婦人の解放は無產階級が解放されて初めて得られるものであるから、婦人は現在無產政黨が揭げてゐる樣な政策を實行する爲めに、無產政黨を支持し、有力な鬪爭力を作り上げなくてはならない。──萬々一既成政黨が婦人の參政權を與へるとしても、その時は必ず己れが、婦人を己の勢力範圍內に利用出來る見込みを付けたときに違ひない。──彼等は自己の支配力を固める爲めの用意が備はなければ、決してそれが正當だ、國民の要求だからとて、おいそれと適へてはくれない。──婦人は茲所から、工場から、敎室から、工場から、坑山から、無產黨があくまで我等の利害の爲めに勇敢に鬪つてくれるように、熱烈に支持應援す可きだと思

最新社會運動用語

アクション・プログラム

行動綱領の謂。法律關係のために團體が最後の目標を公示し得ない場合或は團體が目標手段の一致によつて集らず、現在の利害と事實を以つて集る、協同戰線團體の場合等に於いて、許さる範圍、或は共通の範圍に於ける行動の基準として、採用する綱領を行動綱領と云ふ。

アジテーション

これは英語であつて煽動と譯されますが煽動は、日本にて『おだてる』『あをる』と云ふ意味にて惡い意味に用ひられて居るが、社會運動上の用語の煽動は一つの嚴格な意味があり、色々な問題を大衆に訴へてその理解と同感を求めるにプロパカンダ（宣傳）とアヂテーションの二つの形式があつて、プロパカンダは、澤山の思想を一人の人間若しくは特定の人間に注込み、アヂテーションは一つの思想又は少數の思想を大衆に注込む事である。例へば失業を扱ふ場合にプロカパンダは恐慌の原因を說明し、現代社會に於いてその必然なる所を敎へそして、この社會を社會主義社會に變化させる必要を證明する、即ち若干の人に依つてゞなければ直ぐには理解されない多くの思想を述べる、アヂテーションの場合には最も痛烈なる例、聽衆の最も知つてゐる例、例へば或る家族が失業の爲に餓死したとか乞食が增加したとか等の凡ての人のよく知つた事實を利用しての窮の增加と悲慘の增加に關する一つの思想を單的に明らかに大衆に與へる、それでプロパカンダは主として著述により、アヂテーションは演說による、プロパカンダとアヂテーションの差は實際に於いては、前者は說得とそれによる行動を後者は激憤とそれによる直接の行動を要求する點に重きを置かれてゐるので、一見單なる比較の如きといへどもそれは極めて必要な區別でなくてはならない、我が國の勞働團體の機關雜誌でも比較の話ではあるが、雜誌はプロパカンダの機關であり、新聞はアヂテーションの機關であり、また同じ集會でも敎育集會は前者で說法反對とか倒閣演說會の如きは後者の方に重きを置かれる、それで煽動とはかような眞面目な意味を有するのであるが、惡い先入主（先きに入つた觀念）があるから、むしろ原語、のまゝアヂテーションと用ひた方がよい。

アジテート

アヂテーションの動詞で『煽動する』と譯す

アジテーター

『煽動者』『動說者』のこと、

アジテート・ポイント

アヂテートするに用ゆる集合所、合宿など云ふ略して『アヂト』

アッピール

『訴へ』又は『檄』こちらの考へ方に共鳴して貰ふために相手の感情判斷に訴へ若しくは檄することである。

イデオロギー

これは獨語であり觀念（考へ方）と云ふ事で英語のイデオロジーに同じ

インプレコル

これはインタナショナル、プレス、コレスポンデンスの縮語であり第三インタナショナルの國際通信の意である。

インストラクション

指令と譯す上級機關の指揮書命令の事

ウヰン・インタナショナル

これは嘲笑的に第二半インタナショナルと云はれ本名を國際社會黨行動同盟と云ふのである、また第二の黃色と第三の赤色に對し、ピンク（桃色）インタナショナルともいはれてゐる、同盟は第二と第三の中間に立つもので、大戰前の第二の中央派によつて組織されたものである、第二に對してはその反動的なる大戰爭を（帝國主義）積極的に支持したるを攻擊をなし第三に對してはその無產階級の獨裁を攻擊したのである、一九二一年二月にオーストリーのウヰンの國際會議によつて成立し、主なる構成團體は獨立社會黨（獨）獨立

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ふ。――私達は、かくして大衆運動の一翼として――いやいやその中に溶け込んで、半分の力として進まねばならぬ……』と

だが吾々は斷つておく。これ等の小ブルジョアー運動の階級的意識を、決して過重に評價してはいない、同時に又過少にも評價していない。吾々はたゞ、これ等小ブルジョアー運動が斯うした意識のもとに、我が無産階級婦人團體に共同戰線を持ち込んだことは、決して彼等に利用されたのではなく、彼等が我が陣營に下つたことを意味するのであつて、事實上指導勢力の中心は吾々の方にあるのである。

日本の勞農黨系の全國婦人同盟等は、其の同盟員は殆んど總べてが農村、工場に基礎を置く者であつて、而かも、それ等の同盟員は未組織無産婦人をして、着々と各大衆團體に組織しつゝある（例へば大阪、島根、新潟、鳥取等の如き）

我が左翼關東婦人同盟にしても、其の同盟員は常に組合及び黨の鬪爭に動員せられて居り、同盟の政策もそれ〲各組合、政黨等によつて完全に代表せしめられているではないか。たゞ我が關東婦人同盟は、他の婦人同盟の如くに多分に工場及び農村に基礎を有せず、同盟の重要なる指導者野坂龍子氏をして『婦人同盟は極めて少數の小ブルジョア婦人から成つている』と、慨嘆させられた程に、ともすれば自分等だけが、一般婦人の水準を抜け出して、男子と共に第一線に立つことの感激だけに留まり、ひとりよがりの氣分に革命家の、山糸子氏の如き理論的指導者ばかりで、兵卒の少いことと等は確に改めねばならぬところである。國際的に批判されたのは此の點にあるので、特殊な事情の下に要求された、婦人同盟を一般的原則を押しつけて解體する必要は吾々は更に認められない。

科學的に、辯證法的に、マルクス主義的にカン〱に出來上つている我が關東婦人同盟の諸姉達が、婦人獲得共同委員會や、婦選同盟が、歴史的の限定せられた使命を理解しないとはどうしたことであらう。

然しながら山糸子氏も、現下の狀勢の下に於いて被壓迫婦人が、婦人の公民權、參政權の獲得、政黨加入の自由の要求の下に、『婦人の政治的自由獲得同盟』を作る事は意義のあることを認められている。但しこれは『今日の婦人同盟とは根本的に性質の異るものであつて、男子をも加へた婦人の政治的自由獲得を、勞働者農民の政府を作れのスローガンの下に鬪ふものでなければならぬ』と云ふ『主の命じ玉ふ所』に依るのだそうである。

有難い御託宣だ。

關東婦人同盟解體萬歲！

合流萬歲！

追隨萬歲！

勞働者農民政府萬歲ア――イか。

勞働黨、英、佛國社會黨中央派（ロンゲー派）墺國社會民主黨、瑞西社會黨、匈牙利社會黨、チェッタ社會黨等であつて、その創立大會の決議中にその目的を次の如く言つてゐる――『革命的階級鬪爭によつて政治的經濟的權力を奪取して以つて社會主義を實現す』成立の初め第二の『インタナショナル復活委員會』は第二半に對し、合同を申込んだが第二半は拒絶した第二半はその中間的地位を利用して、第二と第三の合同を計つて、伯林に三インタナショナル會議を召集したが、その協約は第二側の怠業によつて失敗してしまつた、一九二二年七月、アムステルダムに於いて第二、第二半アムステルダムの三インタナショナル聯合會議を開き、會議は獨逸の支拂能力（世界大戰による戰勝國への賠償金）を調査しベルサイユ條約を訂正すべきことを決議なし、三名の獨逸經濟調査委員を任命した、會議はエス、エル犯人の死刑宣告によつて第三が伯林協約を破つたものであると宣言した、而して第二半加盟各黨は中間派であり、その各黨内部には右に近いものと左に近いものとがあつた、そこで第三インタナショナルの加入條件によつて、獨立社會黨、獨立勞働黨等は、分裂して左翼は共産黨と合同したので、第二半加盟各黨は第二に近きもののみとなつたので、第二と協同動作をとり、遂には一九二三年五月ハンブルグの合同大會で合同し今は無し。

馬なき人

馬も賣拂って了つた農民。貧農のこと

内からの攻撃

喰下り、喰込みと同意義であり勞働運動上の左翼或は急進的團體が右翼或は保守團體に對する戰術の中で、その右翼團體の構成員になることによつてその統制權を獲得し、また内部からその戰術を革命して、その首幹部を一掃せんとする努力を云ふ、更にこれは嚴格に構成員にならずとも、ルーズな聯合組織や共同戰線によつてもなされる、この反對の戰術は『外からの攻撃』であるこれに[illegible]的にも産業的にも、保守團體に對抗する團體を組織して、外部から攻撃し、或は組織上の競爭を行ふものであるが、更に保守團體の左翼がその内部に留つて内から攻撃することなしに、積極的に脱して對抗關係を作る場合をも含む、かような對立的に作られる組合を二重組合と呼び、かような戰術を二重組合主義或は二重團體主義と云ふ。内からの攻撃は佛國の左翼及び米國のフォスター派が採用して成功を收め、外からの攻撃は佛國の極左米國のI・W・Wが使つて失敗したものである。尚ほ二重組合主義は資本家が自己の工場の單一團體を分裂せしめて、これが對立鬪爭を利用する場合にも用ゐらる。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全土戰報

メエデー從軍記

五月一日。薄曇り風强き日、此の日こそ全世界の勞働者が一齊に職場から農場から田園からオフイスから鑛山から雪崩を打つて殺到し、不平と不滿とを聲高らかに叫び、ブルジョア支配階級に一大戰慄を與へ資本家共に反逆する我々の信念を行動によつて示す日である。反動政府の陰險によつて、日本共產黨の大檢擧に次ぐに勞農黨評議會、青年同盟の解散此の暴壓の砲火の下に一大示威運動は敢行されるのである。

照りもせず曇りもせず新綠の光りが軟かに眼を射て絕好のメエデー日和、進め社の大谷、上杉兩君を誘つて社を出たのは八時。御成門前の日勞黨本部には祝メエデーの長旗が高く飜へり組合同盟本部前には全國勞働組合總聯合促進の白旗が折柄の强風になびいて其の旗の下には早紡織岩内善作氏を圍んだ女工さんや、全國婦人同盟の菊川靜子女史を始め一團となつて田舍のお内儀さん風に手拭をホコリ除けに頭にかむり『貧苦飽くなき資本家の』と唄ふ顏には紅を暴してはやデモ氣分、會場に繰込む此の日こそ特別議會の閉會あけの日であり反動政府にとつて乘るか反るかの運命の日に當るので院外に於ける倒閣の大示威運動の觀があり、まかり違へば大衆が議院に押しよせるの懸念のあつたものか警官を動員する事六千、帝都は水も洩らさぬ空前の警戒ぶりで會場の內外は蟻の這出るすきまもなく入口は警官の人垣、猛勇を以て鳴るアナ系の自由勞働者組合の一團が黑旗を先頭に一大喊聲をあげて一擧に警戒線を突破せんとして警官隊と大亂鬪を演じ、品川署に總檢束、何となく物騷い氣分が漲ふて會場の內外は殺氣だつ。入口には警視廳特高課が監視し廿數名の警官が御叮嚀にまるで稅關で物を調べる樣に一人一人單念に調べあげビラや小刀を押收し勇敢なリーダーとにらまれたものは住所氏名を記した荷札つきで檢束の暴壓ぶりやつとの思ひで入場する、會場內では關東消費組合聯盟の卅數名がメエデー餅、パン、サイダー等の配給に目をよわす樣な多忙ぶりビール箱を積み重れた假作りの演壇、中心に組合同盟の千八百名を筆頭に一萬五千の大衆が渦卷き失業反對以下メエデーの標語を記した九段の長旗、三百數十の赤、黑の組合旗が公園の新綠に照り映えて强風になびく、やがて十一時、市電自治會現實同盟の石毛君の司會によつて、メエデーの幕は切つて落され、つゞいて自由聯合の荻谷君の宣言、乘合自動車從業員組合、荒木君の決議文朗讀の後各組合代表の演說に移り大半は中止の暴壓裡に總同盟紡織の女工岡本アヤ子さんの熱辯はいやが上にも會場の空氣を熱狂する、かくて代表者の演說は終り正午過ぎ自治會現實同盟を先頭に『開け萬國の勞働者』のメエデー歌に足どりを合せ乍ら繰り出した日勞黨の本部の前には委員長の麻生久氏を始め幹部總出で萬歲を叫ぶのと相呼應し乍ら、內幸町にさしかゝつた時、舊勞農黨の猛者達が赤旗を振つて我等の示威を鼓舞した時、血迷ひかけてゐる××が飛びついて檢束しようとしたので、小競合の後取返し意氣も物凄く無產者新聞社の自働車隊の大活躍に××も一寸手が出せないので怨めしさうに行進を眺め乍ら追隨して來たのも一興で數州にわたる街頭を練つて洲崎遊中島に着いたのは午後四時半勞働者萬歲の聲は天に轟き地に響きブルジョア共を戰慄せしめ意義あるメエデーはかくして終つたのであつた。解散後革命歌を高唱して××共と亂鬪を演じつひに檢束された勇敢な全國婦人同盟の鬪士があつた事はたのもしく自治會現實同盟の一團がサイダーをラッパ呑みしパンを喰ひ乍らゾロゾロと歩いてゐたのは見苦しく本年のメエデーを侮辱するものであり、全勞働階級に對する裏切行爲である、こうした似而勞働組合は絕對に克服しなければ勞働階級の面汚しである。最も嬉しかつたのはアナ系の朝鮮勞働の途中の見事なデモ振で越中島に入場の際のリーダーぶりは一段と異彩を放つて居た事を特記して課せられた責を果す。

樋詰不二雄

雨中に轟く大衆の行進曲

反動政府の狂壓的迫害の砲火の下に第九回のメエデーは來た。メーデーの定義今更說くの要もなく戰線の統一の前途を祝するのが去年まで別個の行動を取り來りし純向上會も又獨自說を主張して讓らざりし總同盟大阪聯合會も共に集ひて折からの雨を冒して定時に中之島公園に工場より事務室より又はみの笠姿の農村から馳せ付けし農民、うら若き紅の頰を雨にうたせて聲張り上げて唄ふ女工さん、午後一時日本農民組合の山上氏によりて、開會宣せられ、續いて各組合の代表鬪士の演說あり終りて會場を繰出したのは、午後一時第一の關門浪花橋上は府監察官の指揮する一隊の警官隊と第一次の亂鬪それも一蹴にけり飛ばし一路堺筋を南へ南へと進む數十百町の長蛇の列第二會場天王寺公園へと二萬の大衆は進んだ、天にひびくメーデー歌數百の赤き組合旗スローガンを書き込し幾十の長旗官憲の妨害も何んのその各所の人關も突破して進むゝさしも近代權取文明を誇る大阪市も燃え上るプロレタリアートの意氣に壓せられし感あり道中に立ち並ぶ高樓のビルヂングの隅つこでブル共やその手代はふるへてゐた事であらう。かくして、メーデーのデモの群れは午後四時半頃天王寺公園に着き、一段と高く歌聲と續いて起るプロレタリア萬歲の中に解散して、意義ある日は終つた。

大阪第三支局　藤本辰一

各地のメーデー

神戸

神戸における今年のメーデーは川崎造船、三菱製鋼の從業員の間に動搖が起つてゐる際である故、司厨同盟の主盟せる神戸地方無產團體協議會は陸上において、日本海員組合は我國における最初の海上メーデーを擧行せんとしたが、資本家の代理警察當局の極度の彈壓のため、遂に街頭デモは禁止さ

れた。

川崎

川崎は淺野セメント組合を先頭に外七組合總數二千餘名は、稲毛神社より出發し、メーデー歌を高唱して、大デモンストレイションを起し、東京製綱機械部の佐藤君の如きは熱狂の餘り卒倒し、近來稀しなる盛況の中に總持寺に行進し萬歳裡に解散した。

横濱

横濱市は最も猛烈なる示威運動が例年行はれしため、警察は極度に神經をとがらして、警官五百名檢束自動車を用意して警戒せる中にドック工信會外十四團體、參加人員二千名は市内中村町石油貯藏庫跡に集り、各組合の代表者の無產階級のため大氣焰を擧げ、午後二時より示威運動に移り、檢束される事ものともせず伊勢崎町より掃部山公園に行き散會した。

朝鮮

×××に苦しめる朝鮮においては、總督政治の彈壓のため屋外運動は一切禁じられて終つたため示威運動はなかつた、無產階級の一年一度の勞働祭を支配階級のため、抑壓さる事に憤慨せる鮮人思想團體黒友會は、この彈壓の激流に抗して、飽く迄鬪爭せんとし宣傳ビラ配布、示威行列、講演會等の計畫を成してゐたが、メーデーの前夜幹部總檢束に遇ひ遂に何事もなかつた。

陣營堅き泉南の山野

南大阪泉南の地方は、古き昔より奴僕の土地と云れ。我々の祖先幾代暴虐の[illegible]鞭の下に泣き、絕えなき搾取に喘ぎ來つゝ、今に至りて又近世資本家共の魔手の振ふ事は綿絲綿布い產業と共に世に知られつゝあり。我等同志はその中にありて、進め支局を創めて、專心ブルジョアジーと抗爭を開始してより數年の星霜は過ぎた幾多の苦難と闘ひ、進め戰鬪主義を奉じ多くの戰士を養成して、總ゆる戰線の分野に送り込みし事を天下の同志に誇るものである。然し花年々歲々同じく咲けど人皆これに同じからずの例にもれず、創立當時の人々は今無きは淋しけれど苦戰の功績を受けて若き戰友の雲の如く集り進めの旗は今も未來も我が泉南の地の同胞に明星と輝きて、進むを誓ふものである。最早我等の同志によりて、南大阪の各地に正義の旗高く、驕り資本家の暴壓をハネ返し、雄々しく戰は開始せられた。やがては、全日本改造戰の第一血戰も我等である事自負して報告に代ふる。

（大阪泉南支局山田盛一）

籠の鳥はかく叫ぶ

正しく私等貧乏人の味方である進めの誌上をお借りして世の中の人々にお訴へ申し上げます。

我が國に女の人の數は幾人あるかは存じませんが、日本の主要工業である私等の働いてゐる。紡績工場の姉妹も澤山な事と聞て居ります。金持の人々は私等を國を富す花であると呼で居りますが果して私等は國を富す花でしようか私はその言葉に疑を持つと共に今の工場の總てのからくりに疑を持てゐます。國を富す花それは如何にも立派な美しい言葉でありますがその花が、年々に淋しく世の中から種々な病氣やその他の事情で消えて行き又無事に工場で働く人々も言ふ事の出來ない苦しみと惱みを持つて人の世に生れし事を恨んでゐる、と云ふ樣なことを申しますと不思議と思はれるでしよう。工場には種々と規則もありますがそれは會社の爲に作られてありまして、金持の人々の云はれる國を富す花の爲には出來てゐません法律ではなんとか云ふ名で種々と定めてあるそうですがそれもどんな事か無學な私等には解りません。會社の人はその譯の話もしてくれません。又寄宿舍と云ふのは女工が逃出す事を防ぐ監獄とでも云ひたいのです。勝手な規則で私等は親しいお友達等と手紙のやり取りさへ出來ません。この樣に申してゆきますと山ほどありますが、先申しきもした如く世間知らずの私には美しい文章で語る事は出來ませんどうか進めの諸者樣方へお願ひします、皆樣の正しきお力で私等の苦しみを實地にお調べの上世の中の不思議な言葉の中に泣きくらしてゐる私達姉妹をお助け願ひます小說やその他の婦人雜誌で私等の生活を同情してくれる人がありますが眞實に味方になりてくれる人が少い事は私等の力弱きと共に悲しんで居りますが私等は何時までも泣き居る事は永久に泣く事である事を知りました、私等は進めの方々の力を借りて正しく生くる力を作りたいと思ひますどうか私等の苦しみと惱の渦卷に飛び込んで來て力を盡されん事をお願ひします

和歌山紡績森脇信枝

有田暴行署長を佐賀縣に一歩なりとも入れるな

四月二十九日、東京本所公會堂の田中反動内閣打倒民衆大會において、限りなき亂行をして、民衆の憤怒を買つた有田原庭署長はその罪に報ひてすみやかに腹切つて天下に謝すべきを人民保護に當る警察官の態度であるべきに不埓にも吾が佐賀縣に赴任するもの、樣である。無論、この暴行が有田のみの責任でなく、その背後にある反動内閣の仕業ではあらうけれども有田の如き人非漢を赴任せしめる事は佐賀縣民衆を愚弄するの甚だしきものである。彼等は部下にのみ罪を負擔させ、恬として自己の非を知らざるもの、如き顔をしてゐる。一方、あらぬ罪名をもつて馘首された下級巡査は明日よりして失業者の苦しみを嘗めればならぬ。これらの警官等は上級幹部の横暴に憤慨してゐると傳へられてゐる。彼等は決して心から無產者運動を壓迫してゐるのではない生きんが爲めに、妻子の爲めに、心なき任務をもせねばならぬ。見よ、彼等は過日の總選擧において自分は既成政黨は投票しない無產黨に入れると大膽に新聞記者に語つたものさへあるではないか。少なくとも、時代を解する警官であればかくの如き言葉は當然であらう。

かゝる警官を苦しめた有田原庭署長の佐賀縣赴任反對は元より、それをあやつる田中反動内閣の存在を許す事は出來ない。彼等はふたゝび狂人的態度をもつて佐賀縣の民衆運動を壓迫するであらうから。しかし、吾々は單に有田のみの糺彈運動に止まつてはならぬ。その背後にある田中反動内閣を倒せ。同じ穴の狸民政黨を蹴散らせ。

佐賀縣第一支局山下辰吉

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

子分を賣る共産黨の幹部

三月十五日に日本共産黨の與の手入があつた、巨頭福本和夫、佐野學、渡邊政之助は水を喰つて既に逃げて了つた、どうして逃げたかわれ等田舎の青年には知る由もないが檢擧未前に逃げると云ふ事がおかしい、如何に巨頭でもこれを前知する能力はあるまい、ソコに何等の秘術があるものと思はれる、そうびもそろつて三巨頭が行跡不明、官憲は別に追つかけないとか、東京にかくれて居るとか又は既に入露して居るとか云はれて居るわれ等はその秘術を掘る事が出來ない、只不思議と思ふより外はない、知つて逃げるならなぜ早く黨員に知らせない、自分許り逃げて黨員は捕まつてもいゝのか是れが共産黨の原理か我渉か知らないが、子分を賣りて逃げ出す彼等人非人の肉を喰つても喰つてもあきたらぬ奴でないか。スパイ佐野スパイ福本スパイ渡邊樣等には日本の土をふませないぞ。

新潟　山根安藏

田中大將どいたぞいた。

山口縣は人も知る反動の大將田中を出したところだ。田中は議會においても一連託生説などゝ云つてゐたが、二枚舌をつかつて内閣改造をやり、解散を恐れる民政明政のフラフラ政黨をおどしつけてまんまと議會を切拔けたが、この田中の人もなげなる山東出兵、勞農黨解散の暴擧は全國の民衆の憤激するところとなり田中内閣打倒の聲は愈々高まるばかりである我が縣においても、日本勞農黨の旗がなびいてゐる。去る四月廿七日夜徳山町において大演説會を開け聽衆二百名數いて五月五日にも第二回演説會を開く、聽衆約三百、入黨申込者も續出する有様やがて田中大將も沒落だらうとのもつぱらの噂である。

山口縣　村山眞一

裏切者戸谷一雄の低腦

わが島根縣にも分裂主義ダラ幹が居る。戸谷一雄は其の尤なるものである、彼は二月福田氏の選擧にブルヂヨア民政黨木村小左衛門から金をもらつて妨害さんとした其眞相が發表されると彼は彼の發行して居るポケツトのやうな野火と云ふ新聞にその釋明をして居るが、一頁の岡崎國臣の廣告は何か、岡崎は民政黨の資本家でないか、木村小左衛門の從兄でないか、あたま隱くして尻隱くさず、勞農黨島根縣支部聯合會執行委員長は民政黨の提灯をブラ下げ、印ハンテンを着て居るではないか、エセ無産黨は直ぐにバケの皮がヘゲル。五十にもなつて親を詐へて財産を奪はうと云ふ下劣な根性でどうして、社會運動が出來るか、戸谷一雄よ貴樣は無産者の味方なぞとガラにもない嘘をつくより、大黑屋の女中と嫁か爲で心中するがいゝダラ幹に徹底する。

柴天眼子

千葉勞農黨の成立

勞農黨解散の結果左傾派を離れた堅實なる農民運動を基礎とする新無産黨が千葉縣に始めて生れた名稱を千葉勞農黨と云ひ結黨式を去る五月五日午後一時より縣下佐倉驛前旅館に代表者二十餘名集合し官憲の警戒裏に議長及役員選擧及び執行委員長等を擧げ宣言綱領政策等を議決した。

○綱　領○

一、我等は我が國の國情に即し無産階級の政治的經濟的社會的解放の實現を期す

二、我等は合理的手段に依り不合理なる土地生産分配に關する制度の改革を期す

三、我等は無産階級の利害を代表し特權階級の壟斷する議會の徹底的改造を期す

○政　策○

一、政治（イ、普選の徹底、ロ、地方自治權の確立）

二、財政（イ、生活必要品の消費税及び關税の撤廢、ロ、財産税所得税高率累進賦課）

三、經濟（イ、耕作權の確立、ロ、最高小作料の制定、ハ、肥料農具種子の國營並にその無利子貸與、ニ、團結權罷業權の確立、ホ、居住權の確立主要食料品價格公定制度）

四、社會（イ、失業疾病老廢災害保險制度の確立、ロ、教育制度の改正、ハ、居作權の確立

ニ、冤罪並に不當拘留に對する損害の賠償）

目下同黨は規約綱領政見等の宣傳書五萬枚を印刷し農繁期あけを待つて縣下に大宣傳をなし農民階級をして農民運動の確實な歩みに導き農民の實生活に觸れたる諸問題に對し從來地主及資本家の獨占物であつたる農會、産業組合、耕作組合等地方農業自治の諸機關を農民階級の勢力範圍に保有し地方の農村の實權を握るべく猛烈なる實際運動に着手する事になつた。

共産黨の大彈壓を受け解散の餘勞農系の左傾分子は新黨に優勢に新黨員が吸收され段々其れに動かされて行くので新黨準備委員會を造り其の結束を謀らんとするけれど其の筋の眼光するどくして否認さるゝので新黨に對する種々なる反對宣傳ビラを撒き――官憲擁護の無産黨に欺されるな――等の意味宣傳でこの新黨に大なる反對を叫び其の崩壊運動をなし居るが此の新黨の結黨は左傾的勞農黨に偉大なイクサイトを與ひ兩者の抗爭も白熱的氣味に相成つた。

（千葉縣鈴木進郎）

千葉勞農黨に與ふ

千葉縣勞農黨は舊勞農黨系の極左翼分子の指導に慊たらずとして結黨された事には同感する、一般地方の無産黨を結黨する事に戰線統一の漸くならんとする今日において將來に戰線を分裂せしめるものである。支配階級の攻勢漸く激しき時、分散せる力ではどうしてもそれに備へる事は出來ない、力強き全國的組織をもたなくては、無産政黨の意義はあり得ない。千葉勞農黨は多分一時的な即ち舊勞農黨の解散後黨員の分散を防止する手段として赤練左宗派主義の策動を警戒する爲めに結黨されたものとは思つてゐるが、もし、そうでなかつたなら、千葉勞農黨は決して吾人の喜ばざる政黨である。全無産政黨の合同へ一路邁進せられん事を希望する。日農、全日の合同はなつた。吾々は單に二農民組合の合同のみならず、あらゆる大衆運動の合同を促進しなければならない。

（東京山田生）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

擴大され行く和歌山支局

南海道の雄藩として天下に誇りしは、六十年前の夢で今は日々資本家共に搾取されゆく和歌山は古くより社會運動家の發生地である土佐と並ぶと云はれてゐた、我が支局も過め北本部が産聲を擧げし當時より支局として存在し、恐らく全國支局内でも歴史古き事を誇れるものである。近來支局同人の多數は紀州團體の重鎮として農民組合勞働組合又は無産政黨へと奪はれてしまつたが新しく希望に燃ゆる若人達が集ひ來て、熱心に雜誌の擴張に研究に又は同人先輩諸君の實際運動の應援と猛烈に活動してゐる。五月一日メーデーにも組合同盟和歌山勞働者組合の諸君とデモストレーションを決行する計畫でありしに、血に迷ひ居る和歌山警察署は國粹會と反國粹派との殺傷事件直後である故市民に疑惧の念を抱す樣な思がするから中止してくれと申込み來りしが我等は一應拒絶してその準備を進めつゝありしが再三の交渉を付け來るので參加團體協議の上街頭示威運動は取止めて各組合支部で座談會を開く事になり我支局も支局同人集合の上研究會を開催した、集る同志二十名盛會だつた。近日は紀南地方に宣傳班を送る考へである同地には隠れたる同志のある事とてそれ等の人々と會見の上新しく進め青年同盟を組織する考へであります。支局當事分會の同志松本、堀内の兩君最近農民組合を組織して全日本農民組合に加盟せしめ、松井君は縣會議員の補缺選擧に出馬する事になり日方海南西支部と共同候補として戰ふ事になつてゐます。かくの如く右に左に戰を通じて支局の名全縣下にひゞき支局全體は全和歌山の煽動所となり同人全部がアヂテーターとして奮戰を續けてゐます。

（和歌山支局　林重雄）

全國水平社藝術聯盟生る

宣言

一、全國水平社藝術聯盟は因論、自我、老衰、徒に分裂して疲憊亂立せる全國水平運動の現状に鑑み、水平運動本來の使命の下にあらゆる藝術的形式を以て水平意識の水準を高めると共に戰線の統一を期し第二期水平運動に躍進するものである。

一、本聯盟は資本主義社會の持つ指導機關を排擊し、賤視觀念を含める過去一切の藝術を否定しその崩壊を期して我等の團結よりなる新興藝術發生の烽火を擧げるものである、

一、本聯盟は原則として政黨政派に超越し、又反動的融和に墮せず、爆狂性運動をも退けて一路邁進人間性原理に覺醒し全被壓迫民衆の解放運動の一翼たらん事を期す。

聲明書

全國に散在する被壓迫民衆よ、我が特殊部落民よ團結せよ、世界は今二つに分裂してゐるのだ。

權力と隷屬と搾取と被搾取とそして非人間的一切の醜惡性から出發する專制支配は、自身の力を忘失した一群尚も人間の一切を永久に鐵鎖の下に抑留すべく魔手を揮つてゐる。

嘗ては吾々が水平運動の上に宗教的陶醉に輝いた星はその夢幻的光芒を失つて早くも流れ墜ちた、そしてその初期に於ては團結の堅固と熾烈な意氣とを誇りとして擴大性を現はしたにも拘はらず、早くもその進展性を失つたのは何故だらう。

勿論内部間に於ける宗派的分裂にも因るだらうし又、その多くが偏狹固陋な皮相的糺彈に終始した事にも露骨な權力者の暴壓や反動的融和運動の高潮にも因る。

併しそれは一つの波のうねりが突き崩されただけだ、崩されても潰されても吼え狂ふ海の彼方から押し寄せてくる千波萬波の力こそは何うする事も出來はしない。

全國水平社藝術聯盟は間違つた社會制度間違つた因習觀念を桎梏の論據そのものから改革する爲に新らしい生命と力とをもつて起ち上つた一つの波だ、そして新らしい生命の息吹、戰鬪的藝術をもつて心的淨化の一手段としやう。

我々の祖先が過去に於てどん底の生活から生んだ自覺的な賤視觀の藝術、又賤視觀念を含める封建的、自由主義的社會が生んだ現代の藝術の多くは甘美な毒ガスとなつて社會に充滿し、重要な反動作用をなしつゝ被壓迫民衆の闘爭を麻痺せしめ陶醉せしめてゐる。

併し吾々は今日そんなものに滿足し騙されてゐてはならない、眞に階級的闘ひの藝術、鐵の如く、そして柔軟性に富むあらゆる藝術を以て我等の全き解放運動を起さなければならない。

永い／＼間の賤視觀念、隷屬關係を掃到すべく吾々は階級的、戰鬪的藝術をもつて吾々の水平運動に役立たしめやう。

吾々は吾々に失はれてゐた人間性の尊嚴さをいつどんな時でも把持してゐるか。

卑屈な言葉と怯懦な行爲逃避と昏迷とにいつ迄も戀々と執着してはゐないか、

そんなものはもう西の海へサラリと投げ棄てゝ了はなければならない、社會制度を創るものこそ人間の意識でなければならないから、人間の恐怖すべき運命を能動的實行によつて轉換せしめやうと主張する所に血の渦から辛くもはひ上つた水平運動の生命はある。

嵐と惱みの中にある水平運動より全國水平社藝術聯盟は斯くして生聲を揚げた。展け行く第二期鬪爭を前にして我等は果敢に先驅する、そして荊棘の徑をも辭さない事を茲に内外に聲明するものである。

全國の被賤視民衆よ、吾が特殊部落民よ團結せよ、水平社藝術聯盟を支持せよ、

一九二八——五

全國水平社藝術聯盟
假事務所　府下寺島町一一九八
山本幸藏方

支那に兵を出すに反對だ

戰爭、出兵、暴支をやつ付けろ萬歲、

何人の爲の戰爭か何の爲に出兵か何故に支那を伐たなければならないのか。政府は全ブルジョア新聞へ日々その理由を云ふものを載せさし、國士の人々（火吹ダルマ）共は暴支コラセと演説やポスターやビラでドナつたり、撒いたりしてゐるが一體それは誰れの爲だらうか。支那山東省には殊に直接今回出兵の動機となりし邦人多數が慘殺されて、日支兵の鬪戰となつた。濟南にはどれ丈の日本人が居るだらうか、外務省の云ふ所によれば僅か一千數百人二千人足らずだ。その人々の主だつたものは三井とか大倉とかの利權の番人と支那民衆を搾取する者の手代と賣春婦の血で生る惡人と一部の小商人丈だ。さすれば今回の出兵は反動田中及び政友會との關係ありと云はれてる三井とか大倉とか云ふ一大資本家の既得權即ち民衆の肉彈と交換の下に帝國主義者共が支那

（以下五頁へ續く）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

英國農民史要（二）

フォーダム

淺野研眞譯

第二章　往時の生活の崩壊（一三五〇―一五〇九年）

既に記述した制度、即ち普通に『莊園制度』と呼ばれてゐる所の制度の崩壊、並に勞働階級の同時的生長の一大原因は、實に『黒死病』と呼ばれたペスト病であつた。この惡疫は、アジアから來たものであるが、歐洲を東西に正しく横斷して、その通過した國國を荒し廻つた。そして此の惡疫は、一三四八年に英國に到着した。

（A）黒死病と其後

二ケ年（一三四八―五〇年）の間、黒死病は英國を荒れ狂つた。恐らく人口の約半數が死滅し、そしてその結果として、多くの土地が耕作されなくなつた。總ての莊園に於て、領主の管理者は、土地に働く勞働者を探し求めた。そして手に入つたものは何んでも使はなければならなかつた。土地を所有する農民のより良い階級は、黒死病以前に彼の割當地で働いたよりも、より多くの勞働をお屋敷農園に於て働くべく呼び出された。そして自由勞働者たることの利益が、明白になつた。多くの農民は、勞働者になるために、その土地を放棄してしまつた。そして若し領主が、かうすることの許可を拒絶したならば、彼等はその莊園を去つて、他の主人に仕へに行つた。法律は實際には、奴隷が莊園から莊園へと、かうした方法で移つて歩ることを禁じては居たが、しかし勞働に對する需要は非常に熾しかつたので、當時に於ては法律は常に破られてゐた。黒死病と共に、實際に階級戰なるものが初まつた。そして三十年の間、その鬪爭は激烈に行はれた。即ち農民は土地の所有を得んと試み、また勞働者はより高い賃金を要求した。

一三四九年には、高率賃金の問題に面接して、勞働者條令として知られてゐる所の一布告が、國王によつて發布せられた――

『（その布告は云ふ）人民の大多數、特に勞働者及び雇人の大多數が、今日この惡疫で死んだのであるからして、或者は領主の必要と雇人の缺乏とを知つてゐて、過度の賃金を受くるに非ざれば、勤めやうとしないであらう。――吾々は、特に小作人及び勞働者の缺乏から起つてゐる所の此の大きな不利益を考量して、凡ての男も女も彼を要求してゐる所の人に仕へるべく義務づけられ、また賃金のみを受くべきであると云ふことを命ずることが適當であると考へた。そして之れは、彼れが英國の吾々の制度の二十年間（即ち惡疫以前）に於て仕へたであらう所の場所に於て試み續けられてゐた而して若しそうすることを拒絶する者があるならば、彼は直ちに逮捕された。そして最寄の牢獄に送られた。牢獄では彼は前に述べた形式に於て仕へることが安全であると云ふことを見出すまで嚴重に監禁されるのである。

この命令は苛酷にひびくかも知れない。しかし其れは餘り擴まらなかつた。と云ふのは、治安判事――この人の職務はその法律を遂行するにあつた――が餘り有力でなかつたからだ。全く黒死病以後賃金が昇つたと云ふことは、疑ひ得なかつた。同時に、奴隷制度は消滅し初めた。そして勞働者の數は非常に増加した。此等の人々は尙ほ未だ一般に近代的意味における勞働者ではなかつた。しかしその人々は僅かばかりの土地を持ち、自分の仕事が暇な時には、他人のために働いたものだ。黒死病は他の變化をも來した。その土地をどうして耕作しやうかと惱んで居た所の領主は、多くの莊園に於て、お屋敷農園の一部を富裕な農民に讓り初めた。この富裕な農民たちは、凡ての家畜即ち資本と一緒にその土地を受けついだ。即ち彼等は領主に地代を拂ひ、土地は自身で耕作した。かくして小さい乍らも獨立した農民となつた。そして必要な時には勞働者を傭つた。

今一つの重要な變化が、黒死病の結果として現れた。それは耕地が牧場に變つたことだ。由來、英國は羊毛產業を發達せしめつつあつた。そして羊牧業が耕作農よりもより少い勞働しか必要としなくなるに從つて、領主は彼等のお屋敷農園を羊牧業のために使用するやうになり、乃至は廣漠たる公開耕地をさへ擅有しそれを牧畜場に轉化せしめさへした。農民の多くは、此の方法に於て、彼等の小地面を失つた。

（B）農民一揆（一三八一年）

かかる階級鬪爭は繼續して遂に一三八一年に至つた。この年に國王は金の必要に迫られて、十五歳以上の總ての人民に一人當り一シリングの人頭税を課した。そのために事件が紛糾を來した。そしてその年の六月には、村民は、エセックスのワット・タイラー、エセックスのジョン・ホールス、ウイリアム・グリンドコッべなどの指導の下に、その仕事を放棄し、妻子を殘し、小路を辿つて、數百人の隊伍をなして國を横斷した。農民はその力を知つて來た。そしてその地位の改善のために決心する所があつた。一勞働者としての彼は、土地を耕作するために領主にとつて絶對的に必要であつた。しかし領主は、強制的に賃金を引下げ、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

それと同時に羊毛を生産するために農民の土地を取上げた羊毛なるものは、穀物よりも非常に有利なものであつた。穀物は農民及び全體としての國民にとつてはより多くの價値があるけれども、領主にとつてはより有利なものではなかつた。

一揆の起つたのは、主として東部の諸州であつた。即ちケント、エセックス、ノースフオルク、サツフオルク及びカムブリッヂシヤイヤなどの諸州であつた。英國史に於ては、かくの如き農民の大集合は前古未曾有のことだつた。彼等は數千の隊伍をなしてロンドンへと進撃した。ある州を通過する時には平和的であつたが、他の州を通る時には草原に火を放つたりした。彼等は又、領主の執事や監理者として活動してゐた所の憎まれてゐた辯護士を捕へ、或者は之を殺し、其他は之を拷問にかけた。マイル・エンドに於ては、一群のエセックス人が集つた。そして若年の國王が彼等に會見すべく立ち現れた。そこで國王は農民の不平を聞いた。そしてその願ひを聞き入れた。そして契約書と旗とを提出せしめて、彼等に自由を許した。國王は、農奴制は永久に廢止され、且つ土地を持つ所の人々はその地代が決定されるであらうと云ふことを約束した。彼等は確かに土地に定住し得るものと信じた。農民は、ロンドン及び地方の他の方面での幾らかの動亂の後ちに、氣分も安らかに、その家路へと歸つて行つた。しかし國王の約束は、破られてしまつた。そして農民がロンドンを去るや否や、そして政府側の恐怖が鎮まるや否や、武裝した軍隊が、農民を鎮壓するために送り出された此等の軍隊は力に於ては農民よりも遙かに優れて居た。そして農民は各地に敗北した。若し農民がこの鬪爭に於て勝利を得て居たならば、何の疑ひもなく、彼等は土地の所有を保持したであらうし、また土地を所有しない勞働階級は決して發生しなかつたであらう。

（C）新秩序の到來

（一三八一—一五〇九年）

農民一揆は農村の生活をば少しも變へなかつた。だが、それは大きな變化の端緒を示してゐる。即ち大きな變化は約百年の間、徐々と進行して行き、後に至つてはより急速に進行して行つた。

往時の莊園領主は、その當時に於ては、法律の變更に從つて、その所領を賣ることが出來た。そして土地を買ふために町からやつて來た所の人々は、後年の大地主のやうなものであつて、その地所を利潤のために管理しやうと欲した。金を作ると云ふことを基調とした新しい觀念が、廣がり初めた。疑ひもなく、多くの莊園に於ては、往時ながらの生活が續いた。しかし他方に於ては、農民は土地を分割することに就いて地主と一致し、そして小地主又は自作農となつた。他の莊園に於ては、領主は彼等の土地を管理人や又は村落委員に委讓した。

かうした變化は、良い方であつた。即ち多くの地方に於ては、農民のストライキや一揆や騷動などが起つたけれども、これは全體に於ては、地方民に對して繁榮期であつた即ち地方民は單に農夫や勞働者としてのみならず、また需要の高まりつつあつた所の織物の職工として、金を作つたのだつた。

土地を所有せる勞働者は、特別に良くなつた。實際に、賃金は保安判事によつて査定されるやうになつたし、また一對の足枷が各村落に、標準率で働くことを欲しない所の勞働者を懲罰するために、設けることが命令されてゐた。だが、そこには勞働に對する强烈なる需要があつた。特に新地主からであつた。そして査定は如何やうであつても、賃金は騰貴する一方であつた。

それにも拘らず、ある地方に於ては、生活が土地で働いてゐる所の人々にとつて、惡くなつて行つた。此處でも彼處でも、特に西部イングランドに於て、領主は全莊園を占有し、小屋を倒し、農夫も勞働者も凡てを追拂つた。これは大きな牧羊場を作るためであつた。と云ふのは、羊毛も次第々々に農業の最も有利な分野になりつつあつたからである。かやうな地方に於ては農民は全部を失つた。そして何處か他の所で土地を確保し得ない限り、彼等は土地なしの勞働者となつたのだ。

尚ほ興味の深い記錄としては當時に於て、確か一三八九年に於て、狩獵規則の最初のものが議會を通過したことである。農民や勞働者は、かくして森林や未開墾地で兎や獵鳥を殺す權利を剝奪されてしまつた。其後と雖も疑ひもなく彼等は盜獵をしてゐたのだだが若し彼等にして捕へられた時には、彼等は所罰された

—第二章終り—

淺野研眞主幹

社會科學月報 ソシウス

一部 五錢
送料 二錢
一年 六〇錢

『ソシウス』既刊要目

◇創刊號（二年 十 月）産兒制限號
◇第二號（二年十一月）宗敎批判號
◇第三號（二年十二月）敎育批判號
◇第四號（三年 一 月）藝術批判號
◇第五號（三年 二 月）農村問題號
◇第六號（三年 三 月）道徳批判號
◇第七號（三年 四 月）婦人問題號
◇第八號　大學自治號
◇第九號　思想困難號

東京青山アパート七九號

發行所 ソシウス社

振替東京一三八九番

メーデーの時現試同盟の連中がアンパンやサイダーを自慢さうに一人殘らず食つたり呑んだりして先頭に立つてゐたのは見苦しい事だつた。あんな組合に先頭の役目をやらせる樣では何時迄立つても駄目だ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無産運動講座

資本主義·社會主義（三）

神庭仲之助

資本主義のかいぼう（二）

三　ブルヂョアは如何にして發生せしや

一方に生産手段より引離されて益々貧困の中へ陷入つて行く階級あり、一方生産手段を私有し、その經濟的優越からして、政治、教育、宗教の方面を絶對的に支配する階級が存在する。この階級對立の展開は資本家的生産の發展と共に前進して行く。そしてプロレタリヤが益々増大する可能性をもち、遂ひにその自覺によつて資本家的生産組織が崩壊に至るべき事は前述した通りである。扱て、この資本主義社會の創造者であり、其の中心勢力者であるブルヂョアジイは如何にして發展し、自らの優勢なる地位をきづきあげたか、吾等は今少し詳細に考究する必要がある。

近代國家（それは資本家的生産の發生と共に建設された）の形成されない以前において は、ヨーロッパは封建諸侯の專制の下にあつた。産業は小規模で工業でも農業でも所謂自給自足の状態であつたギルド組織はその間に形成されてゐた。然るに前述した通り、交通の發達や、それに基づく新大陸の發見、機械の發明などの諸原因によつて、従來の小地方的な産業組織は亡びて、廣大な經濟的相互關係を必要とする資本主義が急速に形成されたのである。

扱て、資本主義社會においては、生産機關は一部少數のブルヂョアに私有される。生産機關を私有すると云ふ事は、従來の手工業時代の生産手段を私有するとは比較にならない經濟的力を必要とする。大建築、大機械、そうした建築をし、工場内に大きな精巧な機械を具付ける事は仲々の經濟的實力を必要とする。かゝる多額の費用をブルヂョアはどうしてその最初獲得したであらうか。

カウツキイは、こう書いてゐる。

『ヨーロッパの冒險家が新發見の大陸から、商業、詐欺、掠奪によつてかきさらつて來た洪水の様な富が大波打つてヨーロッパに注がれた。この富の過分の配當は、船舶を艤裝し、大膽不敵な乗組員の多數を狩り出し得たところの豪商の上に落ちた』

近代國家形成時代の資本家の富はかうした危險な冒險の代償として獲得し得たものだつた。かゝる冒險的商業が、未開人類を相手として如何に掠奪的に行はれたかは想像するに餘りある。無限の富を藏せる新大陸に縦横無盡に交通路を開拓した結果として大波の様な富が一躍ヨーロッパの資本家共の上に落ちて來たのであつた。こうした富を無限に有せる資本家は、國王や國家に金を貸し、その代償として國家の機能を完全に自家藥籠中の物として了つた。その爲めに、國家は益々資本家の蓄積の爲め努力し助長するものとなつて行つた。

カウツキイの言を、亦引用する。

『經濟學の初歩の書物は、吾々に資本の起原は蓄積にありと教へる。然し吾々はこれと全く異つた資本の起原を知つてゐる。資本家的國民の大多數の富は、その殖民政策、即ち他國土の掠奪、海上掠奪、密輸入、奴隷賣買、商業戰爭に由來する。資本家的國家の歴史は最近の時代に至るまで、かくの如き方法で、資本を『蓄積』することが出來た例證を示してゐる。』と、

ブルヂョアの最初の富はかうして蓄積され、その富によつて國家を左右し、生産機關を私有した。そして、ころげ込んで來るプロレタリヤの勞働を搾取していやが上にも富の層を重ねたのである。我が國に初めて資本主義の流れが浸入して來た頃、富は維新の際のどさくさまぎれに旨く術策を用ひた少數の手に握られてゐた事はあまねく人の知る所である。勿論、資本家が富を蓄積した事には異論がない。しかし、その蓄積の方法の如何が問題である。この項目に就いてはいづれあらためて詳細に書きあらためる。

四　資本主義の根本精神

資本主義社會の根柢を流るる精神は、功利的個人主義とそれを基準としての自由競爭である事は何人と雖も否定しない。即ち資本主義社會は、個人の利己心を自由に放任しておけば、何人も己れの好む所に向つて活動し、利益を掌中に握る。各人の誰れもが、かうして利己心を働かせておれば、それが取も直さず社會全般の利益となるものであるとなす假定の上に立脚してゐるのである。かゝる個人主義が必ず政策としての自由放任主義を要求する。個人の利益の追求を、各人の望む所に任せて、それに何等の干渉をしない様に國家に對して要求する。もし、夫れ功利的個人主義が眞に社會の利益を增進するものであるならば、それに向つて國家が何等かの干渉を與へる事は、必然的に自らの手によつて自らの利益を阻害する結果となるからである。國家は、個人に對して無用なる束縛をする事を廢して、各人に利益ある方法等を積極的に教へ、亦自から進んで各人の利益獲得上困難を感ずる諸條件を除去し、各人をして天賦の能力を充分に發揮せしめ、各人の利益を最大のものたらしめる様に努力するがその任務であるとされたのである。ベンサムは其の功利主義

的立場からして、從來の法制が徒らに個人の活動を阻害し各人は爲めに天賦の能力を完全に發揮する事が出來なかつたと論じ、全社會の利益は各人が思ひ思ひの方面に於いて擅斷する事によつて招來されると爲し、國家による個人の行動の制限が百害あつて一利なきものと難じてゐる。しかし、全然個人の利己心の發達に委しておくとなす事は、事實上完全に容認されないは勿論である。何故ならば一個人が利己心をある有害なる方面へと逞しうした場合において、社會全般の有害なる影響を受くるは、蓋し必然の歸結だからである。されば、如何に個人主義の上に立脚する資本主義國家と云へども、實際的には干涉政治を採用せざるべからざる破目になる。思ふに、か丶る方面への制限は、自らの即ち資本主義社會の圓滿な維持の爲めにも絕對に必要なものであるといふ事も出來よう。資本主義社會が前述の如き場合において、種々なる制限を個人の行動の上に課するものであるが、一般的に觀察したなら、矢張爭ふ事の出來ぬ功利的個人主義が終始一貫として、其の根柢に流れ固い土臺を形成してゐる。されば資本主義社會制度が實際上種々なる束縛と制限を各人の上に課しつゝあるにかゝはらず、尙資本主義社會が個人主義上に立脚するものであると云はれつゝある所以である。思ふに各人が各自有する特殊な能力や技倆を阻止さるゝ事なしに完全に發揮する事は社會的に最も必要とさるゝ所である。封建制度の下においては、職業の世襲制が根强く力をもつてゐた。爲めに各人は如何に他の方面に向つたなら驚くに價する能力をもつてゐる場合があつたとて、容易に職業を代へる事が許されなかつた。その他封建制度の下においては、何人も著しく自由を束縛されてゐた。封建諸侯の爲めに家畜の役目を果たす事が人民達の上に課せられてゐたのである。されば、各人が如何に自由を求めたかは想像するに難くない。學問の上においても自由でなかつた。宗教上の權力の下に學者はその意に反して思惟し理論を形成する事は許されなかつた。フランス革命や、宗教改革などは皆壓迫された自由の、大空高く飛上らうとした爆發であつた。封建制度の滅亡と共に從來の非自由な束縛は死んだ。も早や職業の世襲に因れる必要はなくなつた。各人は自らの好む所に向つて突進しなければならない。しかし各人は資本主義社會において決して自由ではなかつた。封建制度と共に死んだ筈の非自由は、今度は形を變へて人民共を包圍し、爲めに人民達は從來に變らぬ壓迫の運命の中へ足を落し込んだのである。もがいても、もがいても足を上げる事は出來ない。資本主義は如何なる壓迫と非運をもたらすかといふ事はすでに述べ來つた所である。すでに明かに知り得た如く、個人主義利己心を完全に振舞ふ者はたゞブルヂョア一人である。プロレタリヤは利己心の上に基づいて、技倆を振ふべき、何等の對照物をもたないのである。即ち生産手段は完全にブルヂョアによつて支配されてゐる。生産手段なき所にどうして能力の完全な發揮があり得ようぞ。資本主義は功利的個人主義の上に立つてゐるもの丶、實際上功利的個人主義の行動を發揮しつゝあるものはブルヂアョアのみであつて、プロレタリヤはブルヂョアの天上天下唯我獨尊式の振舞によつて、益々貧困とならざるを得ない運命を背負つてゐる。

要するに、資本主義社會は生産機關を所有せる階級と、全然、それを所有せざる、即ち身體一つよりもたない階級との對立してゐる社會である。この二つの對立せる階級は互に利害相反して合致する事が出來ない。こゝに、澎湃たる階級鬪爭の根因がふくまれてゐる。

五　資本家的生産の矛盾せる諸相

資本主義的生産が、利己的打算の上に立てられてゐる事は屢々述べた通りである。資本家にして自己の事業の有利なると見るや、直ちに其の擴大を企圖するのであるが、もし、其の事業にして不利益若しくは他の事業に比して不利であれば、よしそれが社會公共の福祉に關する生産でも、全然それを拋棄するか、若しくは著しく其の生産を減少して生産品の價格の釣上げを策するのである。アダム、スミスは人間はすべて利己的動物であると云つたが、正しく資本主義社會においては各人の利己心は益々社會組織の保護の下に助長せられ、縱横無盡にその猛威を發揮しつゝある資本主義的生産はすべてが利益を追究するものである以上、利益ある方面へはどしどし資本が流入する、反之不利益なる方面へは資本が次第次第に減少する。

かゝる場合に其の不利益な事業が國民生活の上において重要不可缺な生産をなすものであつたなら、その事業よりの資本の退却は實に國民生活を脅威するものではあるまいかといふ疑問の起るは當然である。アダム、スミスをして云はしむれば以上の如き危惧の念は、杞憂に過ぎないものとなし、資本主義經濟の自己調節的作用はかゝる不合理を除去するであらうとする。何等の國家的干涉なくとも、資本主義的生産が利益を追究するものなる以上一般的に生産は圓滿に行はれるであらうと彼は云ふ。彼の「諸國民の富」の第四篇、第七章、第三節には次の如く書かれてゐる。

『此の如く各個人の利己心は自然に彼等をして、其の資本をに普通の場合には社會の爲めに最も利益ある方面に向つて、放下せしむるに至るものである。なほ此の自然の選擇に基づき、若

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

し或る事業にのみ餘りに多くの資本を放下するが如きことあらんか、其の場合には其等の事業の利益は減少して、其の他の事業の利益增加することゝ爲るべきが故に、彼等は直ちに此の誤りたる分配を訂正する事と爲るされば何等法律の干涉なくとも人々の利己心は自然に彼等を導きて、各社會の資本をば其の社會内に於いて行はるゝ所の各種の事業に向つて凡て都合よく分配せしめ其の割合をして出來得る限り、社會全體の利益にも普く適合せしむるに至るものである』

即ちアダム、スミスは資本主義社會の自己調節作用に對して信頼し、樂觀論を抱いてゐるのである。資本家が、自己の資本を商工業の方面へ投ずるか、又は交通の方面へ即ち鐵道とか船舶の方面へ投ずるか、若しくは事業の方面へ投ずるかは、自身の利益が決定するのである。されば、農業が巨萬の富を蓄積してゐる地方にあつては、期せずして資本は農業に投ぜられるのである。然し、社會生活はたゞ農業生產のみによつて立つて行く事は出來ないから、資本が農業へ行けば後が留守になる。留守になると其の方面に利益が減されて來る。反之農業方面は利益が少なくなる爲めに資本は留守になつた方面へも流入して來るのである。されば、先きに述べた様に各人の自由を利己的行動に任せておけば、生產は發達し、社會全體の富が蓄積されるとスミスは說いてゐる。

資本家的生產の依つて立つ基礎は人間の利己的精神である。企業は利益を目的として行はれる。資本主義社會は自由競爭の社會である。資本家にとつて所謂商賣敵は多數存在する。彼等は誰れもその同種の企業を打破つて自ら金に輝く榮冠を獲んとして互に競走する。一種の戰鬪時代である。されば、資本主義社會を目して無政府的生產の行はるゝものなりといふは、強ち根據無き事とは云へない。何故に資本主義社會を目して無政府社會であると爲すや。

即ち、資本主義社會の生產は秩序が無い。現在の社會でこれこれ程の需要があるといふ事がよく分つてゐたにしても（それは決して資本主義社會に於いては分らぬ）同種の企業が一二に止まらないから丁度いゝ様に生產を調節する事が出來ない。企業家は何人も他の生產を、自らの生產品をもつて除去しやうとの野心があるから、秩序ある生產が出來ないのは蓋し當然の事だらうと思ふ。はつきりした豫定を立てゝ生產をするのではなくして、丁度暗夜をさぐり合つて歩く様に生產をする。盲討の生產である。さて、その生產が旨く行つた行かないかは、市場において分明する。市場とは需要供給の取引の行はるゝ所であるから、需要に良く適應した生產であつたなら利益があるし、需要に比して供給が非常に過多であつたなら利益がない。即ち、需要と供給の正確な分らない社會においては、その關係を實驗する市場が必要である。市場は資本主義社會特有の產物であつて、資本主義社會の滅亡移動と共に必ず亡失する運命をもつものである。何故なら資本主義の滅亡と共に新らしく建設される社會は、正確に需要供給の調節された社會であるからである。

資本主義社會の生產が、想像的計畫によつて行はれ、その成否は市場において、實際に需要供給の互に折衝された後でなければ分らないのである。その結果は、良い具合に成功した場合もあるだらうが成功しない場合もある。商品が賣れない。空しく店頭にほこりを浴びて堆れねばならない。生產過剩の問題は其處に起る。生產過剩は恐慌を生む。マダム、スミスによれば資本主義經濟は自らの有する調節作用によつて、生產過剩の如き問題は起らないだらうと云つたのであるが、資本家的生產の實際に歩き來つた跡を見る時その樂觀は痛ましくも打破られてゐるのを發見する。資本家的生產が無政府的生產である事は否む譯には行かない。この無政府的生產の結果は恐慌となつて現れ、大きな波紋を經濟界に及ほし、否單に經濟界のみに止まらず、あらゆる方面に、即ち、政治、宗教、教育等の上にも看過する事の出來ない影響を及ほすのである。企業家の中にも破產して行く者が續出する。生產過剩の爲め工場閉鎖がある。工場閉鎖と共に、從來工場に雇入れておいた勞働者は全然不要となる。勞働者は解雇されて街頭に追出だされる。彼等の生活こそ最も悲慘であると云はねばならない。新らしく就職口をさがし求めても、恐慌の爲めに騷然たる社會には就職口は無いのである。よし、少しあつたにしても、數多き失業者に取つては、それは無きに等しい。

かゝる現象は資本主義社會の必然の產物である。

さて、私は再び遡上つて、生產過剩と恐慌の問題を更に明確に考究せねばならぬ。生產過剩と云ふと表面上需要の無い不必要な生產をした結果である様に見える。果して然りであらうか否か、！私は需要の問題から出發して何なる事であらうか。例へば、砂糖を例に取らう。砂糖は萬人の必要物だ。何人も之を欲してゐる事は明かである。しかし單に欲しいなと思つただけでは決して需要にはならぬ。欲しいと思ふ慾念と、實際にその砂糖の供給に對して其の代價を支拂ふ事が出來る購買力とが互に一致しなければ需要だと云ふ事は出來ない。されば、需要とは、欲しいといふ事よりは別にしなければならぬ。

資本主義社會における生產過剩とは需要に對してゞある。欲しいと求めてゐる者を全部需要者にしたなら生產過剩はあり得ない。欲しいと思ひ作

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

らも需要者とはなり得ないのは誰れであらうか。即ちプロレタリヤである。資本主義社會がプロレタリヤの貧困を益々大ならしむる事は既にして述べた所である。プロレタリヤは社會的に多數を占めてゐるから、この階級の需要の大小は市場に大なる影響をあたへる。即ちプロレタリヤが買ひたい氣持は山程あつても、實際買ふ力がなければ、所謂生産過剩が起きる。然らば、この生産過剩の起る原因は資本主義社會そのもの丶爲めである。プロレタリヤを搾取し益々貧乏ならしめて行く現在の經濟組織のたまものである。資本主義社會は自らの力によつて自らを倒して行くのだ。生産を增大する機械が續々發明されるのに、何故プロレタリヤは貧乏せねばならぬか機械の價値何處にありや。餘り多く生産した爲めに生産過剩となり、勞働者は解雇されて街頭の飢餓に泣かねばならぬとは何たる矛盾せる社會であらう。プロレタリヤ階級が自ら生産したものを、資本家の倉庫の中に蓄積されてゐるのを見ながら、そして必要に迫られ乍らどうする事も出來ないとは矛盾の甚しき至りではないか。(未完)

創作

田舎主義者

中島安太郎

凋落の秋、初冬だ。監獄の壁は堅く石よりも冷めたい。五日間の上訴期間は今日で切れてゐる。上訴の意思はある。ない。兩方ともだ。何故かなれば經濟が許さないからだ。未決拘留三ケ月でもう澤山だ。家庭の狀況を告げて保釋出願すれば待たせ待たせたあげ句、檢事の意見を聞き許す可からずと決定すると來やがる。辯護士をつけるかつけないかつてぬかしをる。やつぱり金の問題ぢやあないか。腕一本、脛一本の運動だ。そんな贅澤な間拔けた眞似が出來るかい。一體俺はたゞの犯罪人ぢやあないんだぞ。東洋の革命家なんだぞ。東洋の、日本に生れた新しいアナルキズムの信奉者なんだ。それが社會革命運動をやつて、運拙くブルヂョアの手先どもに、ふんづかまつて見てやつた迄の話だ。一寸出ましたお笑ひ草にこんな藝當が出來るかい。いやしやもバクーニンだ、プルードンだ新思想だ。無政府主義の大成者、ピイタア・クロポトキン(寫眞はイルクツク駐在、時に二十二)。彼は一八四二年、ロシア、モスコウの公爵の家に生れ、皇帝近侍の武官としてアレキサンダア二世に屈從し同僚の羨望の的となつた。望むところあつて科學者となり一八七一年、フインランドに於ける農奴生活の悲慘を目擊して起つに至つたのであつた。投獄、追放、脱走は彼の生活の共物であつた。彼の著書『パンの略取』『相互扶助論』『革命家の思ひ出』等が、特に有名である。今年の三月偉大なる彼は死んだ。などと見て來たやうなことを日本唯一のアナルキストの機關雜誌のクロの寫眞の說明を憶面もなく書き上げて濟まし込んでゐる俺だぜ。田舎の馬鹿判事どもにそんなことは解るまいて。上訴や辯護の必要が何處にあるんだ。千萬人と雖も我往かん牢獄へ。投牢捕縛は覺悟の前だ。俺は神なんか信じはしないが——偉大なるアナキズムと一致しないが故に——人類の竹帛だな、その竹帛に雄名を誌すだろうところのソクラテスだ。和製ぢやあないことは勿論だ。ランプのホヤぢやあるまいし——。

あゝ嫌だこんな生活は——。牢獄はもう澤山だ社會運動なんて如何でもよいことだ。俺そのものがよかつたら他人のことなんかどうだつていゝぢやあないか。ロシア人が何と云はふと、フランス人が何をしやうと天保の大鹽でもあるまいに、飛んでもない話。なんだかだと云つてゐた同志の奴公を見たつてわかるだろ、錢一錢差し入れて呉れるか。みんな逃げ出してと云ふことが出來ないとしてもよりつかんぢやないか。否さうではない。俺と云ふもの丶集合體が、社會なんだして見ると社會は一個の俺の擴大されたものに過ぎないではないか。さうしたら俺自身がいけないと感ずること、それ自體がいけないことだろ、社會的に。その位のところに俺の主義の根底があるんで——その、その邊で、よかろと思ふ。なんて考へることが面倒臭いや、何だい。俺はアナキストだ。理想郷建設の爲の貴い捨石を此の田舎へぶち込んでやつたのだ。俺が此處へはいつたことが記録されて末の世には弘法や、眞宗の開山や蓮如の遺跡のやうに此の土地が貴ばれるだぜ。鎌倉の土牢などとは違つた意味でだ。銅像でも建てとくがいゝや金が儲かるチエツ、ふざけ過ぎるて。だが考へれば考へる程宿命論者になると云ふ。幸徳の言葉は何だか俺にはチツトも解らない、余はいま捕へられて東京監獄の一室にあり、だけは解るが、なあ。

北關の米産地に生れて其處に育つた土民社會主義者柚田信太郎はK市の未決監に繫がれてゐて、愈々服罪直ちに刑の執行を受けなければならぬ日の前日、いろんな妄想に惱んでゐた。そして

彼が受けた判決の如きは、公平に考へて、若しそれを考へる人が眞實の識者であるならば、あまりにその不當なのに驚いたらう程つまらない事件で虐げられてゐるのであつた。彼が健康であると云ふことゝ貯蓄の精神が少しは、資本主義的にあると云ふことゝ、馬鹿正直であることなどが崇つたとしか考へられない。いま少しく彼が横着者であるならばこんなところで斯ふした地方行政官どもの餌食にはなりはしなかつたらうと誰れもが云つた。實際、彼の臟など、あの質の惡い雜卒共がいゝ可げんな報告書を作つて時の上司へ奉つてゐたなどと云ふことも誰れもが知つてゐることなのだ。そして彼が健康であると云ふことは刑期を長からしめ貯めたことは罰金を多からしめ、馬鹿正直であつたればこそとつ捕まつたのだと考へてゐた。そして此のアナキストは古い道德の信奉者ですらあつたことが田舍ものとしては當然かも知れないが眞實の主義者ではなかつたのだとも云ひ得る。

こんな風に書いてくると此の物語りの作者と、話の中の主人公との思想が殆んど全く似通つてゐて區別が出來ないがこれは、作者の頭のいゝ證據にはチットモならない。正直に云ふと心理描寫が下手だし物語の創作などと云ふことはまだ、この作者などにはよつぽどの重荷であるからである。世間では貴重なといふ時間を作者は、此の物語を書く爲にどの位空費したか知れない。本來ならば此の偉大なる無政府主義者が社會革命の運動に一身を投じて獄に下るあたりの悲壯なるところへ、彼の女との戀物語でも配してまことに『その前夜』のエレーナのやうな婦人の嘆きや、雄々しい女の決心・哀別、悲別と書き立てないと面白くないものだ。この世智辛い世の中にこんな面白くもないものが讀めるかいと、折角の創作を焚いて飯でも煮ることが作者を抗に陷れ自分ばかりがえらいやうに思ふ心得違ひの者が出來るに相違ない。柴田信太郎は區切られた四角い鐵窓から雲切れの大空を仰いだ。

進め社だより

四月十七日、郷里島根に歸りて、徴兵署に出頭した善良な僕に對して、隊屬や、憲兵君僕の村にゐた事のある巡査部長等に、護衛されて、親しい友達に話しかける機會を失つて有難いやら迷惑やらで遂に一日を送つた。

◇

帝國を守る事に異存はないが、五億圓以上の膨大な豫算があるにもかゝはらず、僅か百萬圓ばかりの歸國旅費を出して貰れなかつた事は、實に憤慨させられた歸國族費の必要なものはブルの子弟ではなくて、家庭を設けるために他郷に出てゐるプロレタリアの子弟である國家の干城となるために踊る日に迄ブルヂヨアの瘦の手は動いてゐるこんな間題には凡ての無產青年が立ちあがつて、コツビドイ抗議をせなくてはならない。

◇

それに關聯して考へられる事は、居留民保護のためだと云つて第四次出兵迄した田中陸軍大將の事だ資本家の御機嫌を取るのはよいが、無產者の子弟を×する事丈けはやめてくれ餘りサアベルばかり振回してゐても、足元からぐらついてゐては駄目だぞ。

◇

田中内閣の成す事、遣る事凡てがイスカのハシのくひちがい。はたで見る目も氣の毒な位ひ、大將も今では「困つたことだのう」とこぼしてゐる事だらう。然しその失敗のために國民全體が迷惑する事も考へて、早く内閣をおつぽり出して終へ。

◇

自分等の都合の惡い時には×××××にかくれて逃れ樣とする。こんな政權爭奪や、内閣改造問題に迄、××を引き入れ樣とする事は共產黨事件よりもそれが當面の問題である丈けより多く危險なことだと金持の人々は思はないだらうか。（S生）

今月は印刷屋が經濟整理の都合上少し發行の遅れたのは申譯が無い。内容は適當に入れたつもりである。時計解の下に時事日誌を入れたが讀者諸君の參考にでもなれば本誌の喜び之に過ぐるものは無い。共產黨事件のやかましき今日和田氏に乞ふて支配階級の無能力と亂行を暴露して貰つた。唯物史觀の公式も合せ讀まれん事を望む。高田氏の「赤旗の歌ひ初め」の如きは他のどの雑誌を見ても見る事の出來ない事を深く誇りとする。農民組合大會記に合せて合向大會の關係記をも入れたかつたが時日が之を許さなかつた。今日は依賴した創作が〆切後に漸く到着したので間に合はなかつたのは、遺憾であつた。（紺庭）

肥ビシヤクの咒狀

マルクス主義と云ふ肥ビシヤクのやうな身むけのならぬクサイ雑誌に、山名正照と云ふ何處の牛の背だか、馬の尻尾だか分らぬ野郎が、例に依つて瘦せ犬が吠へるやうな調子で何か何だか恬とまとまりのない、懐か鮭を猫いだやうな、締のない殺存を列べ立てゝゐるが、日本共產黨が裏切を行つたことに付いては「後でゆつくり研究しよう」だと。恰度ブルジョアーの手先の大臣が、己れの乾分等の惡事を辯護するのとよく似てゐらア——それから肥ビシヤク共は、二言目にはゴロツキだとか、札ツキだとか吐かすが、これもブルジョアーの逆宣傳と同類項だ。マルクス主義の半端人足共よ、誰がゴロツキで誰が札ツキなんだ、ハッキリ言つて見ろよ手前達の仲間の裏切をハッキリ言つてやらうか。コウよつく聞けよ。渡邊政之助は日本汽車會社の爭議のときに二百圓で會社から買收されて、戰線同盟の鬪士にヤツツケられて謝罪狀を書いたのだ。見せてやらうか。野田律太は東洋紡績の爭議に買收されたのだ。奥村甚之助は江洲の日本ヵタン會社で、組合員でない勞働者は會社で優待しても組合では騷がないと言明したことがある。佐野學は以前の共產黨事件のときに定評のある奴だ。彼は「エライメニアワサスカエレ」と云ふ言葉を役人から貰つて歸つてから下獄したのだ

マルクス主義のド畜生共よ。次號からウヌ等の納得の行くやうに、ウヌ等の仲間の裏切前科の兇狀を一ツ殘らず書列べてやらア——

—（源藏）—

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

資料

朝鮮共産黨判決書全文（三）

同被告が判示の如く『ヤチエーカ』に屬して其責任者であることは同官の被告姜達永第二回訊問調書にて同旨の供述記載と、前揭第二、三、五三號の會錄、日誌の各記載に依りて各々認むるに足り被告魚秀甲が判示日時場所にて洪閔杉の勸誘を受けて朝鮮共産黨に加入したる事は同官の同被告第一回訊問調書に其旨の記載あるに依りて同被告が判示の如く『ヤチエーカ』『ブラクチ』に屬して『ヤチエーカ』の責任者であることは同官の同被告第一回、同姜達永第二回訊問調書の各供述記載及同第二、三、五三號の會錄、日誌の各記載に依り其知情の點は同官の被告魚秀甲第一回、同權五卨第五回訊問調書の供述記載等に依りて各々認められ被告李相薫の判示日時判示場所にて朝鮮共産黨に加入したる事は、司法警察官事務取扱の被疑者李相薫第二回訊問調書の供述記載と檢事の被疑者姜達永第三回、五井豫審判事の被告李準泰第二回各訊問調書に被告李相薫の同黨員である旨の各供述記載あるに依りて認められ被告金東富に對する知事を除きたる判示と事實は司法警察官の被疑者金東富第四回訊問調書に同一趣旨の供述記載あるに依りて此を認むるに足り被告李忠模が朝鮮共産黨に加入したる事は五井豫審判事の被告姜達永第二回訊問調書中被告李忠模が同黨員である旨の供述記載あるのと前示第二號五三號押收第九七八號の第一六一八號の各文書の記載とに依りて此を確認せられ被告具昌軍が判示の如く知情の後朝鮮共産黨に加入したる事は檢事の被疑者具昌軍第二回訊問調書中同一趣旨の供述記載があるに依りて同被告が判示『ヤチエーカ』『ブラクチ』に隷屬したる事は五井豫審判事の被告姜達永第二回訊問調書中同旨の供述記載があるものと、第二、三、五三號の會錄、日誌との記載に依り此を認め被告李殷植が判示日時場所にて被告朴來源の勸誘を受け朝鮮共産黨に加入したる事は五井豫審判事の被告李殷植第一回訊問調書にて同旨の供述記載に依りて同被告と判示『ヤチエーカ』『ブラクチ』に屬したる事は同官の同被告第一回、同被告姜達永第二回訊問調書の各供述記載及同會錄日誌の各記載に依りて其知情の點は同官の被告李殷植第一回、同權五卨第五回訊問調書の各供述記載に依りて悉く此を認むるに足り被告柳淵和、李敏行の判示日時場所にて具然欽の勸誘を受けて朝鮮共産黨に加入したる事は司法警察官の被疑者柳淵和第二回訊問調書に自己及び李敏行は大正十五年二月日不詳判示の如き勸誘を受けて共に入黨したる旨の供述記載あるものと前掲第二、五三號の會錄に柳淵和に對して大正十五年二月二十六日入黨を許可したる旨の記載あることと五井豫審判事の被告姜達永第五回訊問調書中被告柳淵和、李敏行の朝鮮共産黨員である旨同官の被告洪眞裕第一回訊問調書中李敏行は朝鮮共産黨員であると思ふ旨の各供述記載あるものと同官の被告具昌軍訊問調書の供述記載とに依りて被告柳淵和、李敏行の判示との如く『ヤチエーカ』又は『ブラクチ』に配屬せる事は同官被告姜達永第二回訊問調書に同旨の供述記載あることに依り同被告柳淵和の知情の點は同官の同被告第一回、同權五卨第五回訊問調書の各供述記載に依り各此を認むるに足り被告高允相の判示日時場所にて被告閔昌植の勸誘を受けて朝鮮共産黨に加入したる事は同官の同被告第一回訊問調書に判示の如く勸誘を受けたる旨の供述記載あるものと司法警察官事務取扱の被疑者高允相訊問調書中自己は閔昌植の勸告に依りて朝鮮共産黨に加入したる旨の供述記載あるものと五井豫審判事の被告姜達永第二回同權五卨第二回訊問調書中悉く被告高允相の朝鮮共産黨員である旨の各供述記載あるに依りて被告高允相の判示『ヤチエーカ』に屬する事は同官の被告姜達永第二回訊問調書中同旨の供述記載あるに依りて各此を認定するに足り被告姜均煥の判示月日場所にて被告權五卨の勸誘を受けて朝鮮共産黨に加入したることは同官の被告姜均煥第一回訊問調書に同被告の供述にて自己は判示の如き勸誘を受けたる旨の記載あるものと司法警察官事務取扱の被疑者姜均煥訊問調書の自己は權五卨の勸誘に從つて朝鮮共産黨に加入したる旨の供述記載あるものと五井豫審判事の被告姜達永第二回訊問調書中被告姜均煥の朝鮮共産黨員である旨の供述記載あるに依りて被告姜均煥の判示『ヤチエーカ』に屬したる事は同姜達永訊問調書に同旨の供述記載あるに依りて各此を認め又同官の被告姜達永第四回訊問調書の供述記載に依ると押收第九七八號の第一六號の報告書は被告姜達永の金燦の手を經て國際共産黨に送致したる報告書の前提として所謂停權と云ふものは朝鮮共産黨員の有する發言權、選擧權等をある期間停止するものとして認められ此と同第一六の報告中に金演義を李忠模と共に停權處分にしたる旨の記載あるものと同官の被告金演義第一回訊問調書に自己は共産主義に共鳴して朝鮮の××を希望する旨の供述記載あるものと綜合すると被告金演義が朝鮮

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

共産黨に加入したるを斷定するに足り被告裴成龍の判示月日場所にて朴一秉の勸誘を受けて朝鮮共産黨に加入したる事は檢事の被疑者裴成龍第二回訊問調書に自己は判示月日朴一秉より朝鮮共産黨に加入せよと云ふ勸誘を受けたる旨の供述記載あるものと五井豫審判事の被告裴達永第二回訊問調書に被告裴成龍は同黨員である旨の供述記載あるものと檢事の被疑者洪悳裕第二回訊問調書中に裴成龍は若くは入黨してゐるかも知らないといふ旨の供述記載あるものと司法警察官事務取扱の被疑者裴成龍第二回訊問調書に自己は判示月日勞働同盟事務所（朝鮮勞働總同盟事務所の誤記と認む）にて朴一秉より秘密會合に加入せよと勸誘を受けたる旨の供述記載あるに依り被告裴成龍の判示『ヤチェイカ』及『プラクチ』に屬するは五井豫審判事の被告裴達永第二回訊問調書の供述記載及前示第三號、五三號の日誌の記載に依りて各此を認め被告李承燁に對する『プラクチ』所屬の點を除く判示事實は同官の同被告第一回訊問調書に同一趣旨の供述記載あるものと右第二三、五三號の會錄日誌の各記載とに依りて同被告が判示『プラクチ』に屬する事は同官の被告裴達永の第二回訊問調書の供述記載及同第三號、五三號日誌の記載に依りて各此が認められ被告裴致文の判示月日朝鮮共産黨に加入したる事は同官の被告裴達永第五回訊問調書に裴致文の朝鮮共産黨員である旨の供述記載あるものと前掲第二號、五三號に判示月日幹部會を開き裴致文を黨員として承認する旨の記載あるに依りて此を認むるに足り被告南海龍に對する知情以外の判示事實は司法警察官事務取扱の被疑者南海龍第三回訊問調書に其旨（太新町は大新洞の誤記と認む）の供述記載あるものと五井豫審判事の被告裴達永第五回全政琯第二回訊問調書中に被告南海龍の朝鮮共産黨員である旨の各供述記載あるものとに依りて明白にてあり又被告愼杓晟の判示月日朝鮮共産黨に加入したる事は同官の被告裴達永第五回訊問調書中被告愼杓晟の同黨員である旨の供述記載あるものと前示第二號五三號の會錄の判示月日朝鮮共産黨中央執行委員會にて愼杓晟を黨員として承認したる旨の記載あるに依りて認められ被告趙東祜に對する知情を除く判示事實は司法警察官の被疑者趙東祜訊問調書に同旨の供述記載あるものと押收第九七八號の第一八號の報告書に同被告が朝鮮共産黨にて懲罰處分を受けたる旨の記載あるに依りて此を認められ被告趙東祜の朝鮮共産黨に加入したる事は五井豫審判事の被告裴達永第二回同洪悳裕第一回調書に××（原文不明—譯者）したることは同裴達永訊問調書に同旨の供述記載あるものと右第二三、五三號の會錄日誌の記載とに依りて各此を認むるに足り被告權五卨の判示月日場所にて同黨員趙斗元の勸誘を受けて朝鮮共産黨に加入したる事は司法警察官の被疑者權五卨第一回訊問調書に同旨の供述記載あるものと五井豫審判事の被告裴達永第二回訊問調書中權五卨は趙斗元と共に朝鮮共産黨員である旨の供述記載あるに依りて被告權五卨の判示『ヤチェイカ』『プラクチ』に屬する事は同裴達永訊問調書に其旨の供述記載あるに依りて被告權五卨の知情の點は同官の同被告第一回同權五卨第五回訊問調書の各供述記載に於いて、悉く之を認められ被告蔡奎恒の判示月日李準泰の勸誘に依りて朝鮮共産黨に加入したる事は同官の被告李準泰第三回訊問調書に同旨の供述記載あるものと同官の被告裴達永第二回訊問調書に蔡奎恒の同黨員である旨の供述記載あるものと檢事の被疑者裴達永第三回訊問調書の自白は李準泰より蔡奎恒の入黨したるを聞知したるのみならず蔡奎恒より朝鮮共産黨の旅費困難を以て送金せよと云ふ書面が來たため黨員に相談なき旨の供述記載あるものと前掲第三號五三號の日誌に大正十五年三月二十七日咸興の蔡同志より旅費困難の書面が來たといふ旨の記載ありたるに依りて此を認められ被告都容浩に對する知情以外の判示事實は司法警察官の被疑者都容浩訊問調書に其旨の供述記載あるものと五井豫審判事の被告裴達永第二回同李準泰第二回訊問調書に都容浩の朝鮮共産黨員である旨の各供述記載あるに依りて其知情の點は同官の被告都容浩第一回同權五卨第五回訊問調書の各供述記載に依り此を認むるに足る。

（此間約百五十行原稿紛失のため次號に譯出する心算です、—譯者—）

判示第二（一）事實中被告權五卨、洪璔植等の判示の如く謀議したる事は五井豫審判事の被告權五卨第一回訊問調書の供述記載及越尾豫審判事の[illegible]及同官の被告朴憲永訊問調書の供述記載と越尾豫審判事の被告林元根第一回五井豫審判事の被告張順明、洪悳裕、申哲洙、林亨寬、金尙珠、陳秉基訊問調書中悉く自己が高麗共産青年會組織者の一員である旨の各供述記載あるを綜合して此を認め及判示方法として高麗共産青年會と云ふ秘密結社を組織したる事は五井豫審判事の被告朴憲永、洪璔植、權五卨第四回訊問調書の各供述記載に依りて其組織の目的も亦判示の如くなる事は同官の被告權五卨第五回林元根、洪璔植、金尙珠訊問調書の各供述記載に依りて判

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

示三名の銓衡委員の選任されたる事は同官の被告朴憲永訊問調書中に同一趣旨の供述記載あるものと被告申哲洙の當公廷にて朴憲永、洪悳裕の同委員であつた旨の供述とに依りて中央執行委員七名及檢査委員三名の判示の如く選任された事は越尾豫審判事の被告朴憲永第四回訊問調書に同旨の供述記載あるに依りて中央執行委員の判示の如く一切を委託したる事は五井豫審判事の被告朴憲永訊問調書の供述記載に依りて各此を認むるに足り被告申哲洙が判示月日頃檢擧されたる事は同被告の當公廷にて其旨の自陳に依りて被告林元根の被告申哲洙に代りて中央執行委員になりたる事は越尾豫審判事の被告朴憲永第四回訊問調書に同旨の供述記載あるものと同官の被告林元根第一回訊問調書中に自己は中央執行委員にて敎養部を擔當したる趣旨の供述記載あるものとに依りて中央執行委員等が判示の如く其委員會を開きて其部署を定めたる事は被告洪增植の當公廷にて同旨の供述に依りて其部署が判示の如く六部より爲り各自擔任事務を定めたる事は五井豫審判事の被告朴憲永越尾豫審判事の被告林元根（第一回）訊問調書に同一趣旨の各供述記載あるものに依りて悉く此を認め同會員は三十歳以下の者に制限して其募集をしたる事は被告權五卨の當公廷にて同一趣旨の供述に依りて明白であり被告辰呂烈の判示場所にて曹奉岩の勸誘を受けて高麗共産青年會に加入したる事は同被告の當公廷にて自己は判示の如く曹奉岩の勸誘を受けたる旨の供述と五井豫審判事の被告辰呂烈第一回訊問調書に自己は曹奉岩等の勸誘に依りて同青年會に加入したる旨の供述記載あるに依りて被告辰呂烈の知情の點は同訊問調書及同官の被告權五卨第五回訊問調書の各供述記載に依りて被告李姚立の判示の如く高麗共産青年會に加入したる事は同官の同被告第一回訊問調書に同旨の供述記載あるに依りて同被告の知情の點は同官の同被告第一、二回訊問調書の各供述記載に依りて被告金瓚載が判示の如く高麗共産青年會に加入したる事は同官の同被告第一回訊問調書中に此を照應する供述記載あるに依りて同被告の知情の點は同被告第一、二回同權五卨第五回訊問調書の各供述記載に依りて被告金瓚載が權五卨の勸めに從ひて中央執行委員候補になる事は同官の被告金瓚載第一回訊問調書の供述記載と同官の被告權五卨第一回訊問調書中に金瓚載は中央執行委員候補である旨の供述記載あるとに依りて各此を認め又曹奉岩を莫斯科に派遣して判示の交渉を爲さしむるべき事は同官の被告權五卨（第四回）同洪增植、越尾豫審判事の被告林元根第一回訊問調書の各供述記載に依りて學生を判示の如く莫斯科の共産學校に入學せしめたる事は被告權五卨の當公廷にての供述（第一五、一六回）公判調書參照派遣費額の點を除く）越尾豫審判事の被告朴憲永第一回（學生の數の點を除く）第二、七回同林元根第一四、五回（凡て學生の數の點を除く）同林亨寛第三回訊問調書の各供述記載に依りて判示郡聯盟及道聯盟に關する點に對しては越尾豫審判事の被告朴憲永第一、五、六回林元根四回、同權五卨第二回訊問調書の各供述記載に依りて各此を認むるに充分であり被告權五卨の判示の如く金東明と審議したる事は同被告の當公廷にての供述に依りて被告權五卨の判示の如く被告辰呂烈、李姚立を說得して中央執行委員候補に選任したる事は被告權五卨の當公廷にて自己は判示洽川里邊達憲方にては被告辰呂烈、李姚立の二名に對してのみ其勸誘をなし承諾を得たる供述と五井豫審判事の被告權五卨、辰呂烈各第一回訊問調書の供述記載とに依りて各此を認むるに足り又被告李智鐸の知情以外の判示事實は同官の被告及同權五卨各第一回訊問調書の供述記載に依りて被告李智鐸の知情の點は同官の同被告第一、二回同權五卨第五回訊問調書の各供述記載に依りて被告朴珉英に對する知情を除く判示事實は同被告の當公廷にて自己は判示月日場所にて被告權五卨より裡面運動に參加せよと勸誘を受けたる旨の供述と檢事の被疑者朴珉英訊問調書中に自己は權五卨の勸誘に依りて高麗共産青年會に加入したる旨檢事の被疑者權五卨第二回訊問調書中に大正十三年三月金東明の上海に逃走したる故に自己は朴珉英を推薦して高麗共産青年會員となし候補幹部となしたる旨の各供述記載あるものとに依りて被告朴珉英の知情の點は五井豫審判事の同被告第二回、同權五卨第五回訊問調書の各供述記載に依りて悉く此を認められ被告權五卨を始め判示中央執行委員候補等の各自の擔任事務を定めて判示の如く委員會を開催して高麗共産青年會の發展に對して協議したる事は同官の被告權五卨、朴珉英、李智鐸各第一回訊問調書の供述記載に依りて此を明認せられることを判示第二の（一）の犯行を認むるに充分なり。

判示第二の（二）事實中被告吳洪變に對する知情の點以外の事實は五井豫審判事の同被告第二回訊問調書中に同旨の供述記載があるに依り被告知情の點は同官の同被告第一回同權五卨第五回訊問調書の各供述記載に依りて各此を認められ被告朴來源に對する判示事實は同被告の當公廷にての自己は判示月日頃火曜會館にて金東明より高麗共産青年會に加入せよとの勸誘を受けたる旨の自供と五井豫審判事の同被告第一回訊問調書中に判示場所を除く外同一趣旨を供述記載あるに依りて此を認むるに足り被告閔呂植の判示月日に於憲の勸誘を受けて高麗共産青年會に加入した

る事は同官の同被告第一回訊問調書に同旨の供述記載あるに依りて同被告の知情の點は同官の被告權五高第五回訊問調書の供述記載に依りて各此を認められ被告崔安燮の判示月日場所にて申東浩の勸誘に從ひて知情の後高麗共産青年會に加入したる事は同官の同被告第一同訊問調書に共旨の供、述記載あるに依りて被告盧相烈の判示月日場所にて同青年會に加入したることは同官の同被告第一同訊問調書に同一趣旨の供述記載あるに依りて同被告の知情は同官の同被告第二回訊問調書の供述記載に依りて又被告鄭淳悌が判示の如く知情の同青年會に加入したることは、同官の同被告第一回訊問調書に同旨の、供述記載あるに依りて此を認むるに充分であり被告崔安燮の盧相烈、鄭淳悌が全羅南道、道幹部に選任された事は同官の同被告崔安燮第一、二回、同鄭淳悌第一回訊問調書の各供述記載に依りて全羅南道に判示「ヤチエーカ」を設置して判示の如く會員の各配屬したる事は同官の同被告盧相烈第一回訊問調書に同旨の供述記載あるものと同官の被告崔安燮第一回訊問調書中に光州「ヤチエーカ」に判示者等の配屬されたる旨の供述記載あるに依りて各此を認め被告崔一峰の判示月日時判示場所にて崔安燮の勸誘に依りて高麗青年會に加入したる事は司法警察官事務取扱の被疑者崔一峰第一回訊問調書に自己は判示日時場所にて崔安燮より朝鮮にて秘密に運動をなす結社があるから加入せよと勸告を受け承諾したる旨檢事の被疑者崔一峰第一回訊問調書中に自己は高麗共産青年會に加入し居る旨の各供述記載あるものと五井豫審判事の被告崔安燮、盧相烈各第一回訊問調書に崔一峰は同會員である旨の各供述記載あるものとに依りて凡て此を認むるに足り被告鄭淳悌に對する「ヤチエーカ」配屬以外の判示事實は五井豫審判事同被告第一回訊問調書にて同一趣旨の供述記載並に同官の被告盧相烈第三回訊問調書の供述記載に依りて被告鄭來重に對する「ヤチエーカ」の配屬を除く判示事實は同官の同被告第一回訊問調書中に同趣旨の供述記載あるものと同官の被告盧相烈第一回訊問調書に自己は鄭來重を勸誘して入會せしめたる旨の供述記載あるに依りて此を認むるに足り被告許永謨被告盧相烈の勸誘を受け高麗共産青年會に加入せし事は同官の被告盧相烈第一同訊問調書に共旨の供述記載あるものと同官の被告崔安燮、鄭淳悌各第一回訊問調書中に許永謨が同會員である旨の各供述記載あるに依りて此を認む被告金載中に對する知情及「ヤチエーカ」配屬以外の判示事實は檢事の被疑者崔安燮第四同訊問調書に自己及盧相烈は大正十五年四月頃金載中を勸誘して高麗共産青年會に加入せしめたる旨の供述記載あるものと、五井豫審判事の被告崔安燮第二回訊問調書中に自己及盧相烈の申東浩方にて金載中を勸誘して入會せしめたる旨の供述記載あるものと同官の被告盧相烈第三回訊問調書に金載中は自己及崔安燮の勸誘に依り同會に加入せしめたる旨の供述記載あるに依りて各此を認むるに足り被告鄭洪模が判示日時場所にて崔安燮の勸誘を受けて高麗共産青年會に加入したる事は同被告の當公廷にての同旨の供述記載と五井豫審判事の被告崔安燮、盧相烈各第一回訊問調書中に鄭洪模が同會員である旨の各供述記載等があるのに依りて又被告崔一峰、許永謨、金載中、鄭洪模の知情の點は同官の被告盧相烈第二回同權五高訊問調書の各供述記載に依りて各此を認めたるを以て叙上を綜合すると判示第二の（二）の犯行を斷定する證明となすものとす（未完）

（金熙明譯）

本號掲載の共産黨判決文は譯者もことわつてゐる通り一部分抜けてゐる。締切後その抜けた分が朝鮮の一同志の厚意によつて送つて頂き、來月號に掲載する事になつてゐる。この判決の譯載に就いては、譯者金熙明氏は勿論材料を集めて下さつた金浩永氏、電報通信社の某氏、朝鮮の進め支局の多大なる努力によつてゞある。本文は來月號をもつて終りとなるであらうがこゝに特記して深く謝す

編輯部

月刊の社會辭典

問題

東京市外吉祥寺
一第十號問題社

全土戰報投稿規定

地方における無産運動の狀勢、即ち演說會、大衆運動、爭議、選擧運動等を送れ。

支配階級の奸策、例へば府縣會の腐敗、官權の暴壓、裏切者の行爲、反動主義の暴擧等々を送れ。

十五字詰の原稿用紙住所氏名明記の事。

締切、毎月九日

編輯部

新刊紹介

淺野研眞著

社會現象としての宗教

（定價一圓八十錢）

東京市本郷區本郷三丁目三番地

大雄閣發行

婦人良薬
喜谷實母散

さんぜん、さんご、ちのみち、ひきかぜ、ひえこみ
産前、産後、血の道、引風、冷込等に特効有

▲全國到る處に販賣す

本舗
東京京橋區中橋大鋸町
喜谷市郎右衛門
電話京橋五五番 五六〇

讀め！一無産大衆の戰闘的政治新聞

月二回
日本労農新聞
一部五錢

東京市芝公園五號地一日本労農新聞社
振替東京四六六四九

金.銀.白金
德力商店
東京神田松田町
電神25 { 216. 235. 221. 976. 450.

農事試驗場衛生試驗所證明
今津博士發明の專賣特許藥

イマズの五大商品

世界的に賣行の旺盛は品質の優良を誇る●
衛生必需藥

イマズ蠅取粉
▲蠅、蚊、蚤。其他害虫の全滅藥
一磅入大罐
半磅入中罐
卅瓦入小罐

特製、南京虫用

イマズ蠅取粉
▲特に南京虫退治に調劑、効力、適確なり
一磅入大罐
半磅入中罐
卅瓦入小罐

農作物、害虫驅除用

イマズ殺虫劑
▲果樹、蔬菜、其他農作物の害虫驅除劑
一磅入大罐
七十五瓦入小罐

家庭園藝、害虫驅除用

イマズ殺蟲劑
▲石鹼を加用せず、その儘水に溶かして使用する樣便利に調製、一般家庭の園藝用に至極便利
▲効力普通イマズ殺虫劑と同樣
一磅入大罐
七十五瓦入小罐

▲芳香性、便所臭氣止

イマズ芳香油
▲撒布すれば、便所は芳香に滿つると同時に、防臭、殺虫、消毒の効力大なり
▲効力カンプラ油、片腦油の二倍▼
四百五十瓦入

全國至る所の商店にあり

製造元
大阪市東淀川區三國本町
今津化學研究所

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
昭和三年六月一日發行
同 三年五月廿八日印刷納本
第六年第六號
毎月一回一日發行
定價一部十錢（税五厘）半年六十錢一年一圓（税共）
廣告料 一行一圓 一頁三百圓
發行所 東京市麹町區内幸町一丁目五番地（振替東京六九八三五）進め社本部
發行編輯兼印刷人 神崎伸之助 大阪市東淀川區十三西之町一三一 大阪事務所

東京上野 良品廉賣 銀座
松坂屋呉服店
大阪、日本橋 實用百貨 名古屋

新製品の發賣
チューブ入 仁丹の練歯磨
高人の御嗜好と歯科學の精粋より生れたる優秀品
改裝せる 懐中藥仁丹
仁丹特有の効能は胃腸の消化力を促進し身心の爽快を覚す。

新界の最高權威 仁丹の旅温針

森永ミルクキヤラメル

一個五錢・十錢

清新な趣味と實用に綾なす
内外のあらゆる流行品豊富
地方よりの御註文は御手紙にて通信販賣係宛に御願ひ申します
三越呉服店
大阪市高麗橋